

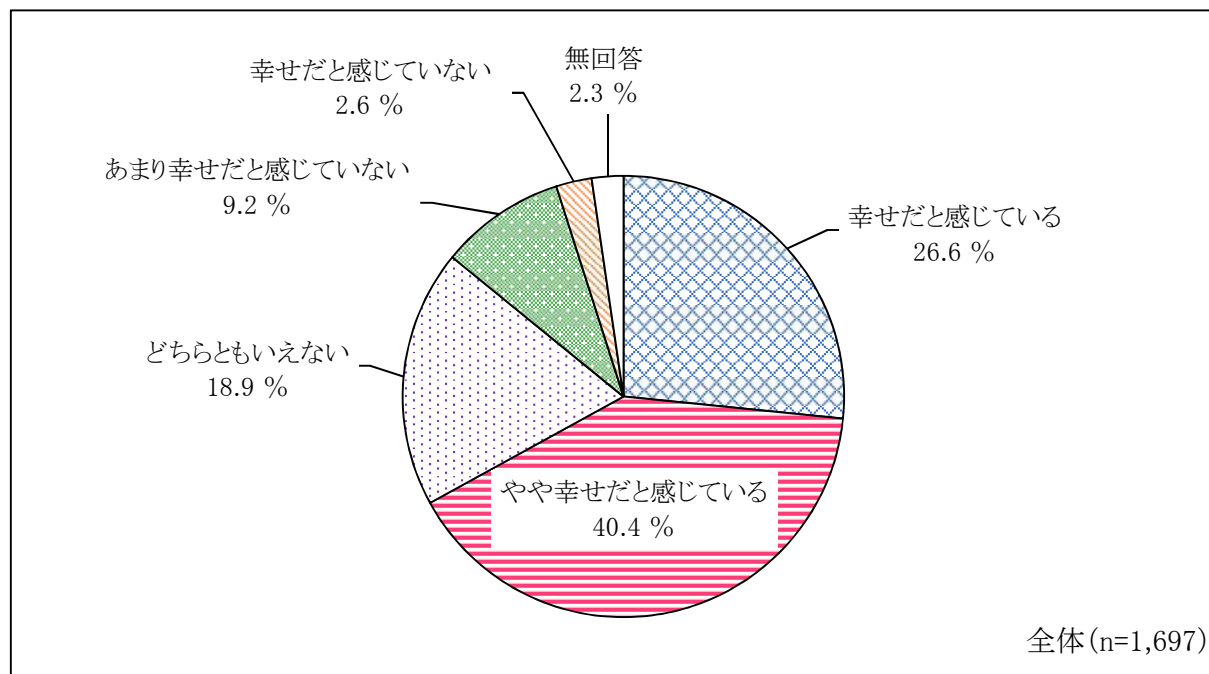
II 調査結果

1. 「幸福」に関する考え方などについて

(1) 幸福感について

① 属性別にみた幸福感

Q あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。
最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『幸せだと感じている』人は7割近く —

【全体結果】

「幸せだと感じている」(26.6%)と「やや幸せだと感じている」(40.4%)を合わせた『幸せだと感じている』(67.0%)と答えた割合は7割近くを占めています。「あまり幸せだと感じていない」(9.2%)と「幸せだと感じていない」(2.6%)を合わせた『幸せだと感じていない』(11.8%)と答えた割合は約1割となっています。

【属性別結果】

ア 性別

『幸せだと感じている』と答えた割合は、男性(63.5%)と比べて女性(72.4%)で高くなっています。

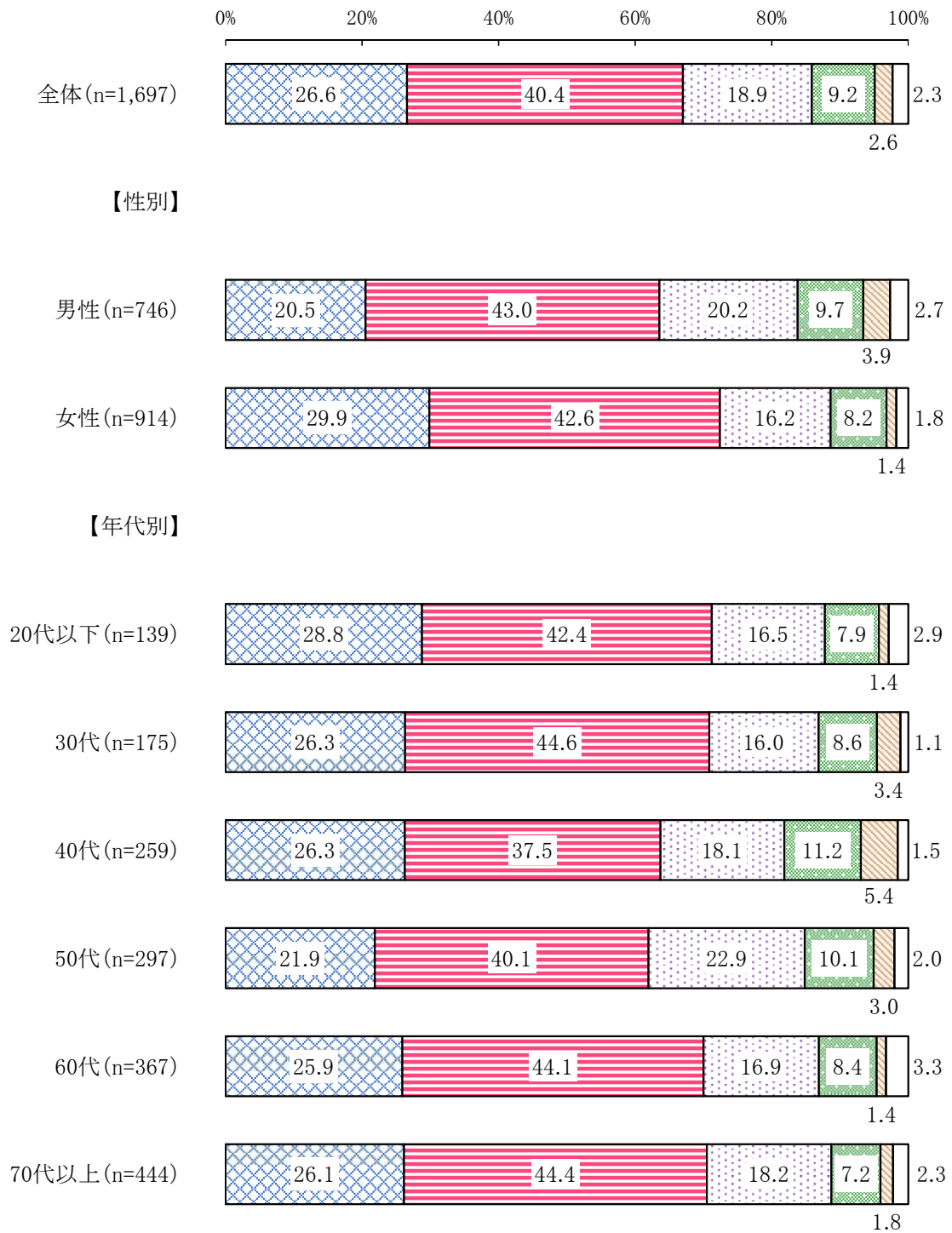
イ 年代別

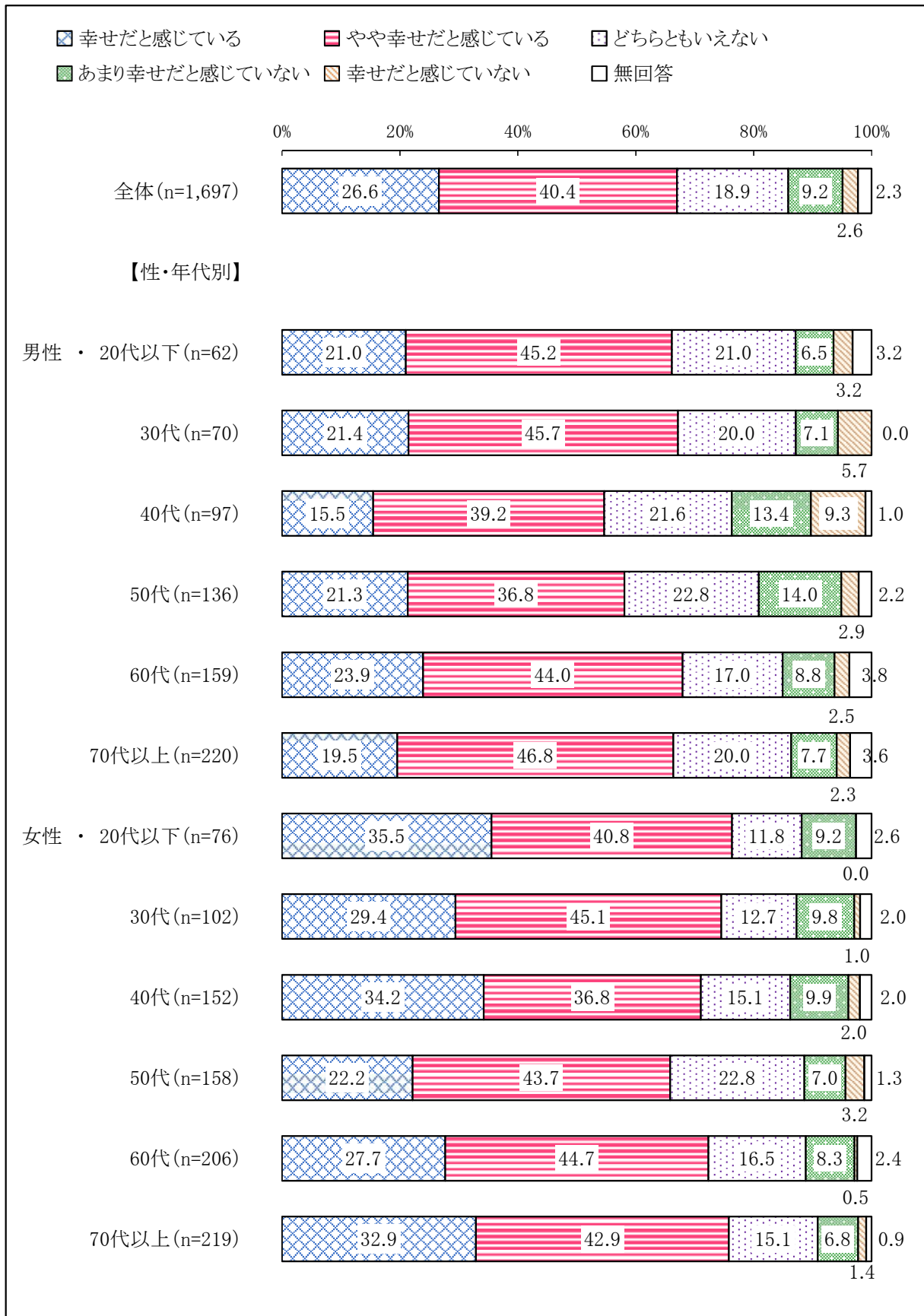
『幸せだと感じている』と答えた割合は、他の年代と比べて40～50代で6割強とやや低くなっています。他の年代では7割を超えています。

ウ 性・年代別

『幸せだと感じている』と答えた割合は、女性の20代以下、30代、70代以上で高く7割半ばとなっています。女性では50代で最も低く6割半ば、男性では40～50代で低く6割未満でした。

幸せだと感じている
 やや幸せだと感じている
 どちらともいえない
 あまり幸せだと感じていない
 幸せだと感じていない
 無回答





② 幸福感を判断する際に重視する事項

現在、または、10年後の幸福感を判断する14項目の回答率をランキング化しました。

【全体結果】

現在と比べ10年後の回答率が高くなっているのは、「健康状況」(65.6%→80.4%)、「家計の状況(所得)」(46.2%→58.4%)、「生きがい」(18.9%→19.9%)、「生活環境(居住・福祉・教育環境など)」(14.2%→17.6%)、「地域の治安・防災体制」(3.2%→4.1%)、「地域コミュニティとの関係」(2.8%→3.4%)となっています。



現在の幸福感を判断する重視度ランキング

順位	項目	回答率 (%)
1	健康状況	65.6
2	家族関係	54.0
3	家計の状況(所得)	46.2
4	自由な時間・充実した余暇	23.3
5	精神的なゆとり	21.6
6	生きがい	18.9
7	友人関係	14.6
8	生活環境(居住・福祉・教育環境など)	14.2
9	就業状況(仕事の有無・安定)	13.7
10	仕事の充実度	6.2
11	職場の人間関係	4.0
12	地域の治安・防災体制	3.2
13	地域コミュニティとの関係	2.8
14	地域の自然・歴史・文化	2.5

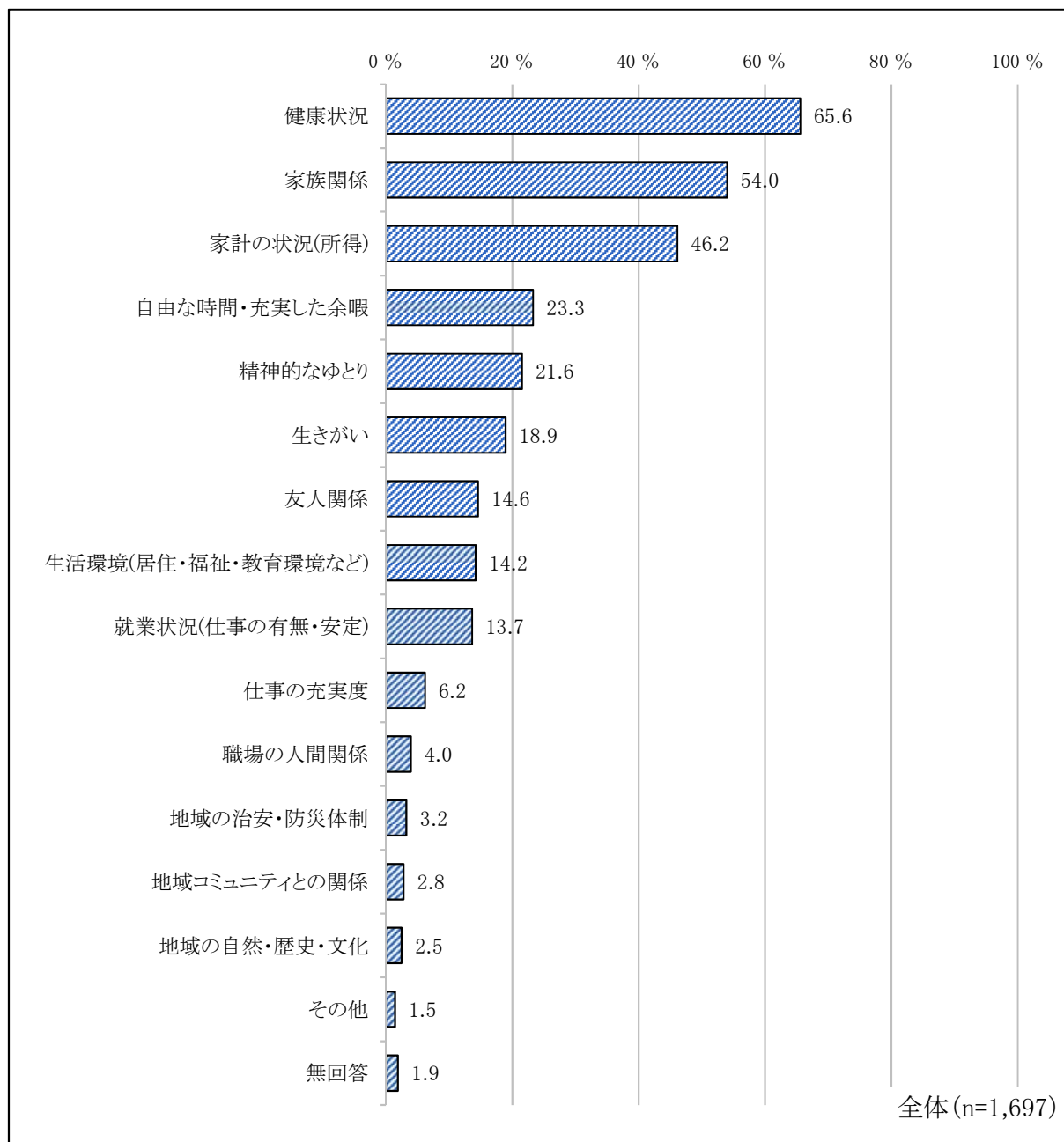
10年後の幸福感を判断する重視度ランキング

順位	項目	回答率 (%)	
1	健康状況	80.4	↑
2	家計の状況(所得)	58.4	↑
3	家族関係	49.5	↓
4	精神的なゆとり	21.5	—
5	生きがい	19.9	—
6	生活環境(居住・福祉・教育環境など)	17.6	↑
7	自由な時間・充実した余暇	12.4	↓
8	就業状況(仕事の有無・安定)	10.6	↓
9	友人関係	7.7	↓
10	地域の治安・防災体制	4.1	—
11	地域コミュニティとの関係	3.4	—
12	仕事の充実度	2.8	↓
13	職場の人間関係	1.6	—
14	地域の自然・歴史・文化	0.5	—

回答率が高いほど、「重視度」が高い項目です。

 3ポイント以上増
 3ポイント以上減

Q 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。
次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。
(○は3つ)



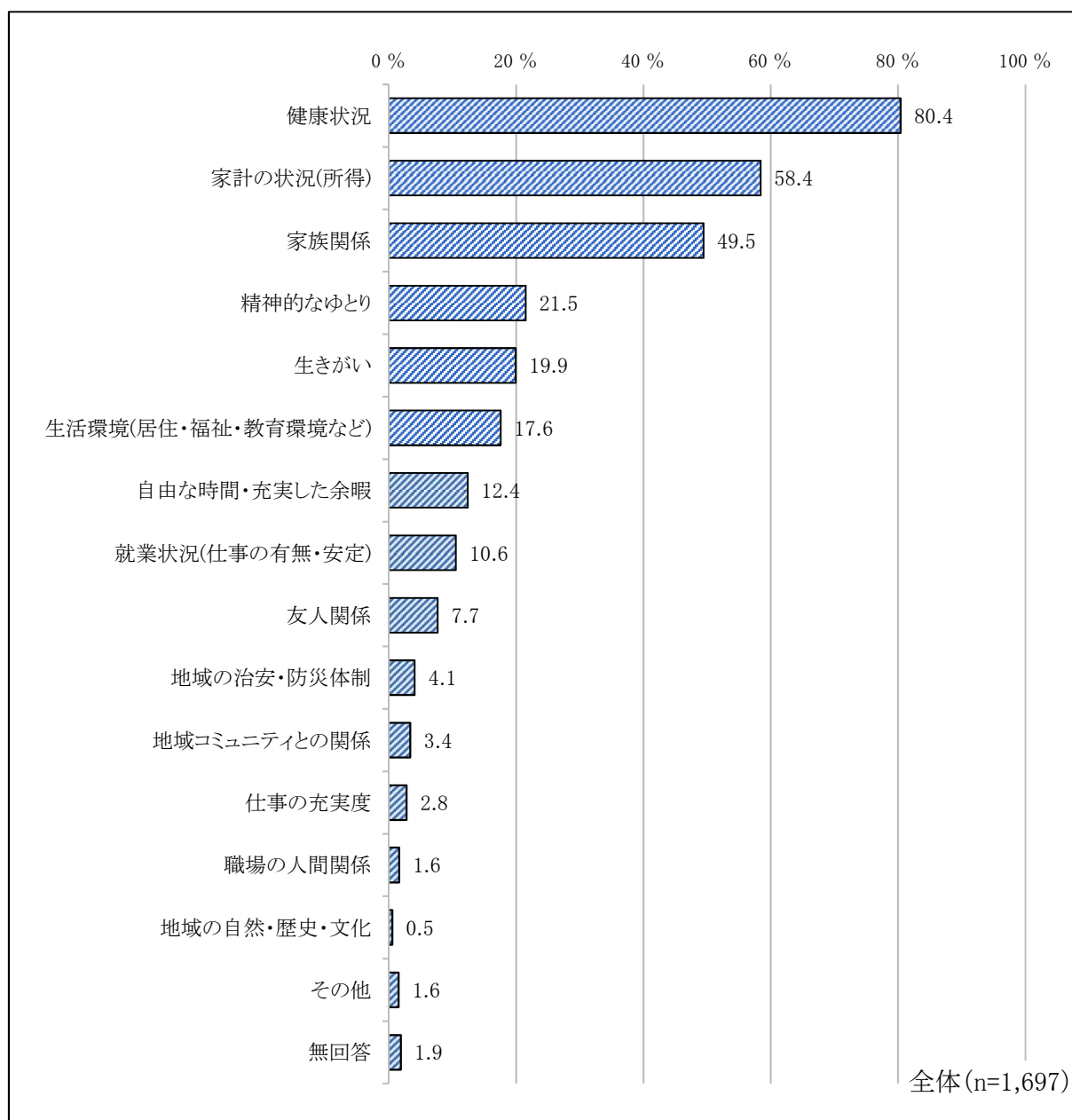
— 1位「健康状況」、2位「家族関係」、3位「家計の状況(所得)」 —

【全体結果】

幸福感を重視する事項について、「健康状況」(65.6%)と答えた割合が6割半ばで最も高くなっています。次いで「家族関係」(54.0%)が5割半ば、「家計の状況(所得)」(46.2%)が4割半ばとなっています。

なお、その他の主な内容として、「その地域の財政」や「免許返納後の買物への不安」、「子どもの成長」、「社会情勢、とくにコロナ関連」が寄せられています。

Q 10年後のあなたを想像してお答えください。
 10年後のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に、重視するだろうと考えられる事項は何ですか。次の1～15の中から、特に重視するだろうと考えられるものを3つ選び、番号に○をつけてください。(○は3つ)



— 1位「健康状況」、2位「家計の状況(所得)」、3位「家族関係」 —

【全体結果】

10年後、幸福感を重視するだろう事項について、「健康状態」(80.4%)と答えた割合が約8割で最も高くなっています。次いで「家計の状況(所得)」(58.4%)が約6割、「家族関係」(49.5%)が約5割となっています。

なお、その他の主な内容として、「子どもの成長」や「コロナの収束」が寄せられています。

③ 感じている幸福感別の重視する事項

重視項目	全体 (n=1697)	幸せだと感じている (n=435)	やや幸せだと感じている (n=714)	どちらともいえない (n=313)	あまり幸せだと感じていない (n=150)	幸せだと感じていない (n=46)
健康状況	65.6	67.8	68.2	68.1	52.0	45.7
家計の状況(所得)	46.2	32.9	45.1	50.8	66.7	71.7
就業状況(仕事の有無・安定)	13.7	9.0	13.3	19.8	18.0	23.9
生活環境(居住・福祉・教育環境など)	14.2	14.7	16.0	12.1	14.0	13.0
地域の治安・防災体制	3.2	3.0	4.2	3.8	2.0	0.0
地域の自然・歴史・文化	2.5	2.1	3.2	1.0	2.7	2.2
家族関係	54.0	72.6	58.3	37.7	28.0	28.3
友人関係	14.6	19.3	15.8	11.2	12.0	10.9
職場の人間関係	4.0	3.4	4.1	6.4	7.3	2.2
地域コミュニティとの関係	2.8	2.8	3.6	2.2	1.3	2.2
精神的なゆとり	21.6	18.4	16.4	29.7	35.3	32.6
生きがい	18.9	16.6	16.1	21.1	20.0	21.7
仕事の充実度	6.2	6.4	8.0	7.7	6.7	0.0
自由な時間・充実した余暇	23.3	23.9	24.5	21.7	23.3	32.6
その他	1.5	1.4	0.8	2.2	3.3	2.2

※1位を■、2位を■、3位を■で色付け

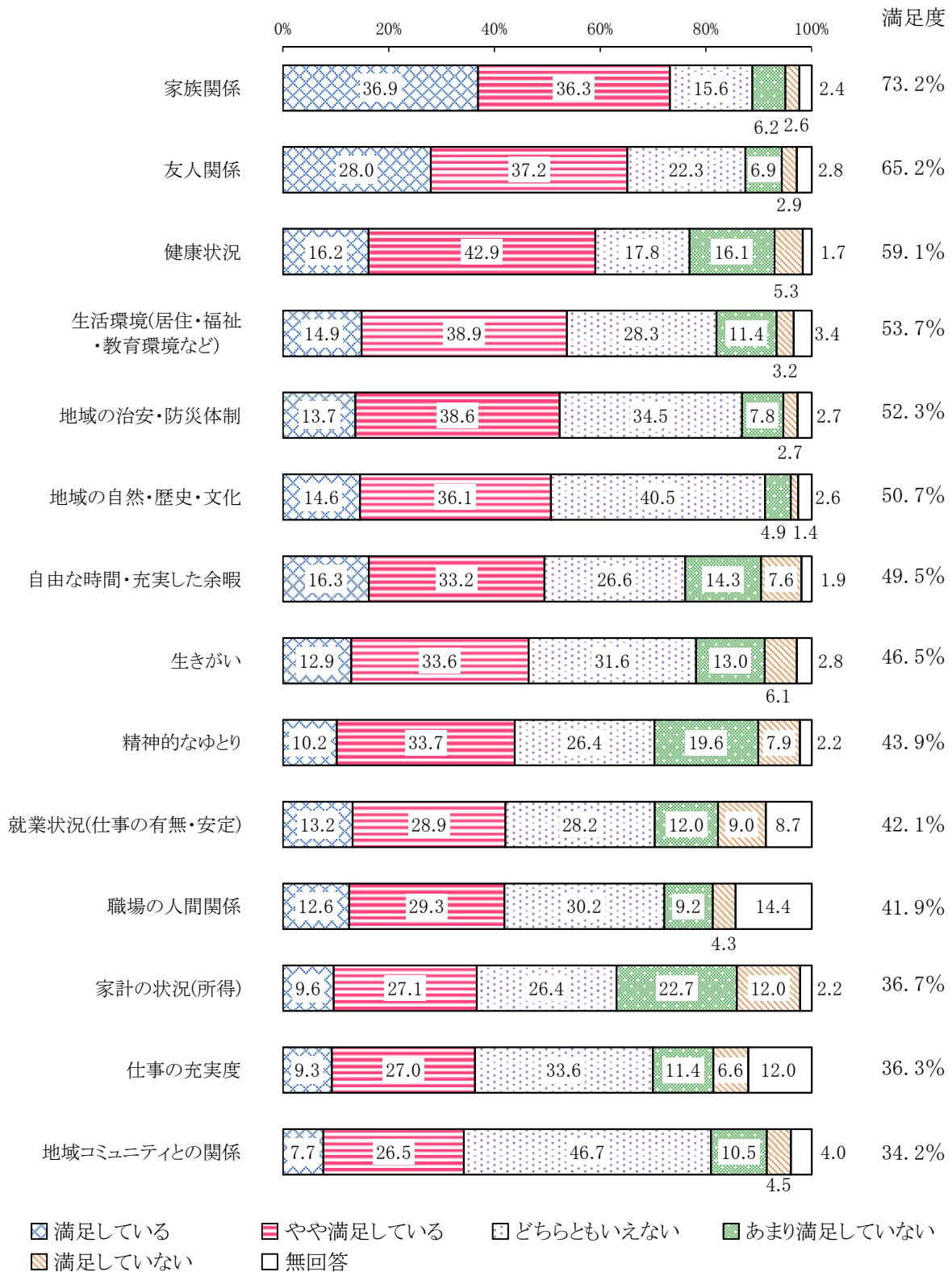
— 幸せだと感じていると回答した人は「家族関係」、「健康状況」を重視、
 幸せだと感じていないと回答した人は「家計の状況(所得)」を重視 —

(2) 幸福感と満足度の関係について

① 満足度結果一覧

14項目の満足度（「満足している」＋「やや満足している」）をランキング化しました。

満足度ランキング

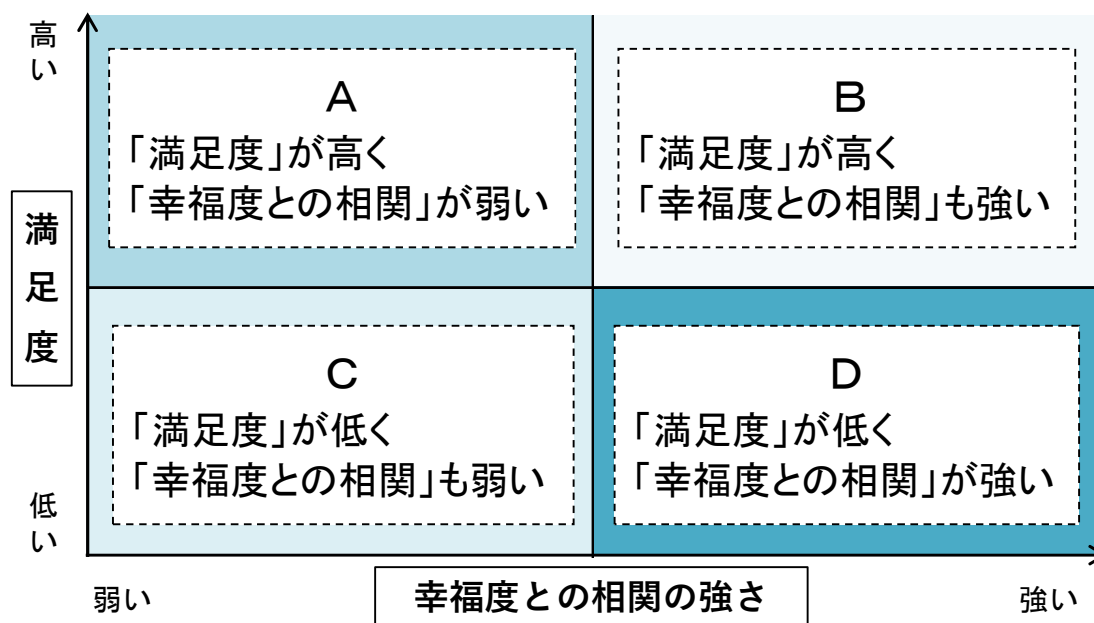


② 幸福感と満足度との関係

《満足度と幸福度との相関の強さの散布図》

本県の取組における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「幸福度との相関の強さ」を横軸にとり、各項目の「満足度」「幸福度との相関の強さ」の数値を散布図に示しました。

「満足度」「幸福度との相関の強さ」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



A：維持領域

幸福度との相関は弱いが満足度が高い取組は、現状を維持していく項目

B：重点的維持領域

幸福度との相関が強く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

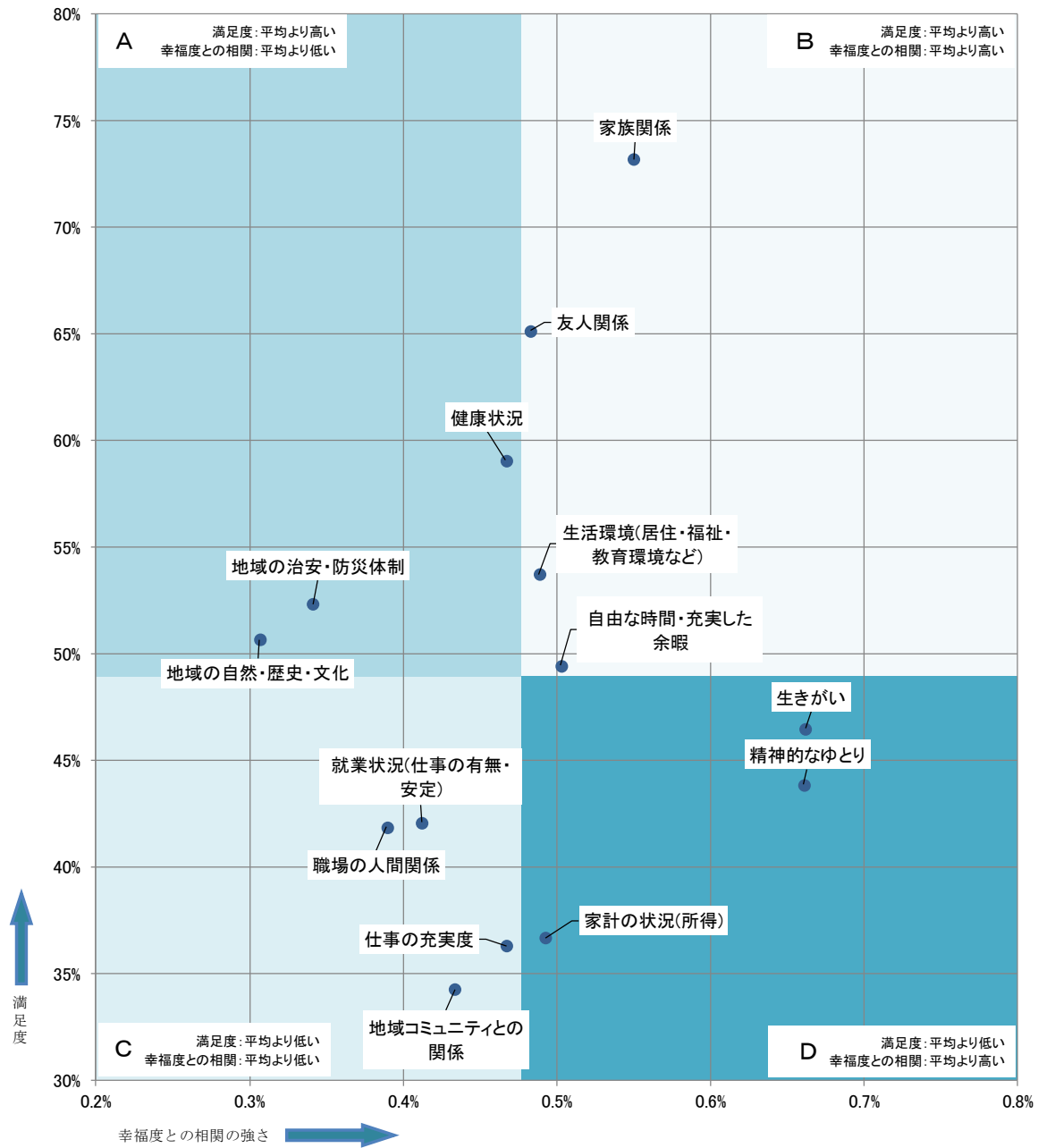
C：要検討領域

幸福度との相関が弱く満足度も低い取組は、県民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重点的改善領域

幸福度との相関が強いが満足度が低いため、現在のやり方を変え満足度を高めていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や幸福度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や幸福度が高い低いということとなります。



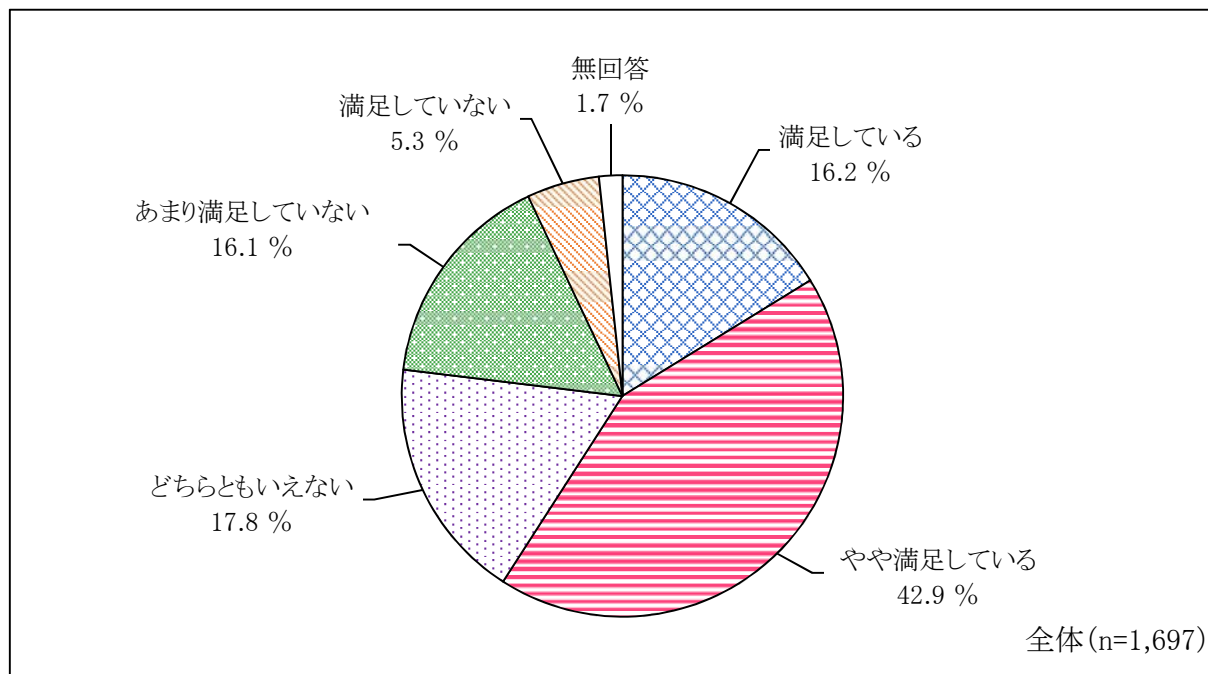
— 幸福度に影響が強いが満足度が低いのは「生きがい」と「精神的なゆとり」 —

幸福度に影響が強いが満足度が低いのは「生きがい」と「精神的なゆとり」となっています。また、「家計の状況(所得)」も幸福度への影響が平均を超えています。満足度は低くなっています。

③ 属性別にみた満足度

Q 現在のあなたご自身の気持ちについてお答えください。
次の1～14の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

③-1 健康状況



— 健康状況に『満足している』のは約6割 —

【全体結果】

健康状況について「満足している」(16.2%)と「やや満足している」(42.9%)を合わせた『満足している』(59.1%)と答えた割合は約6割を占めています。「あまり満足していない」(16.1%)と「満足していない」(5.3%)を合わせた『満足していない』(21.4%)と答えた割合は約2割となっています。

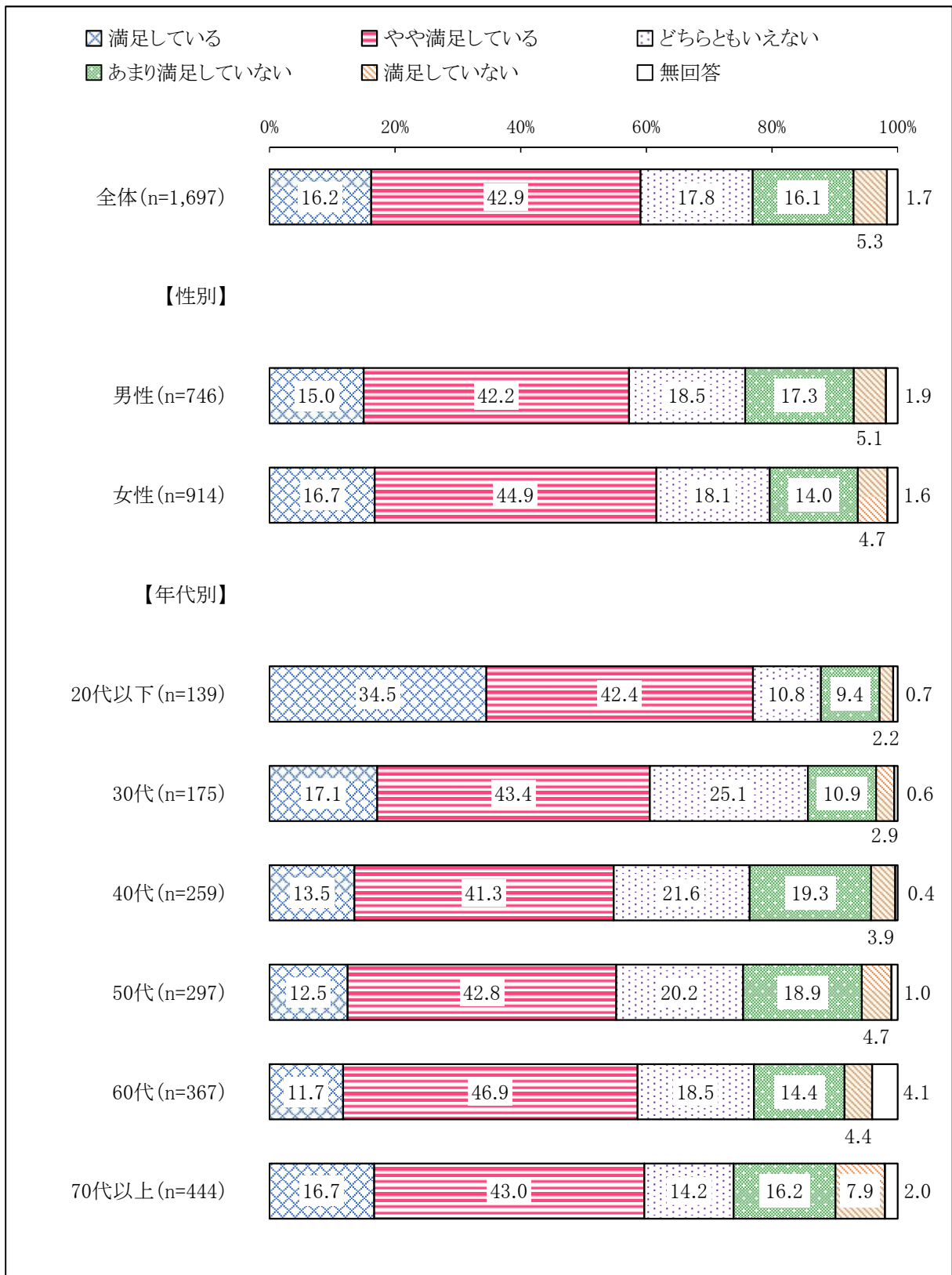
【属性別結果】

ア 性別

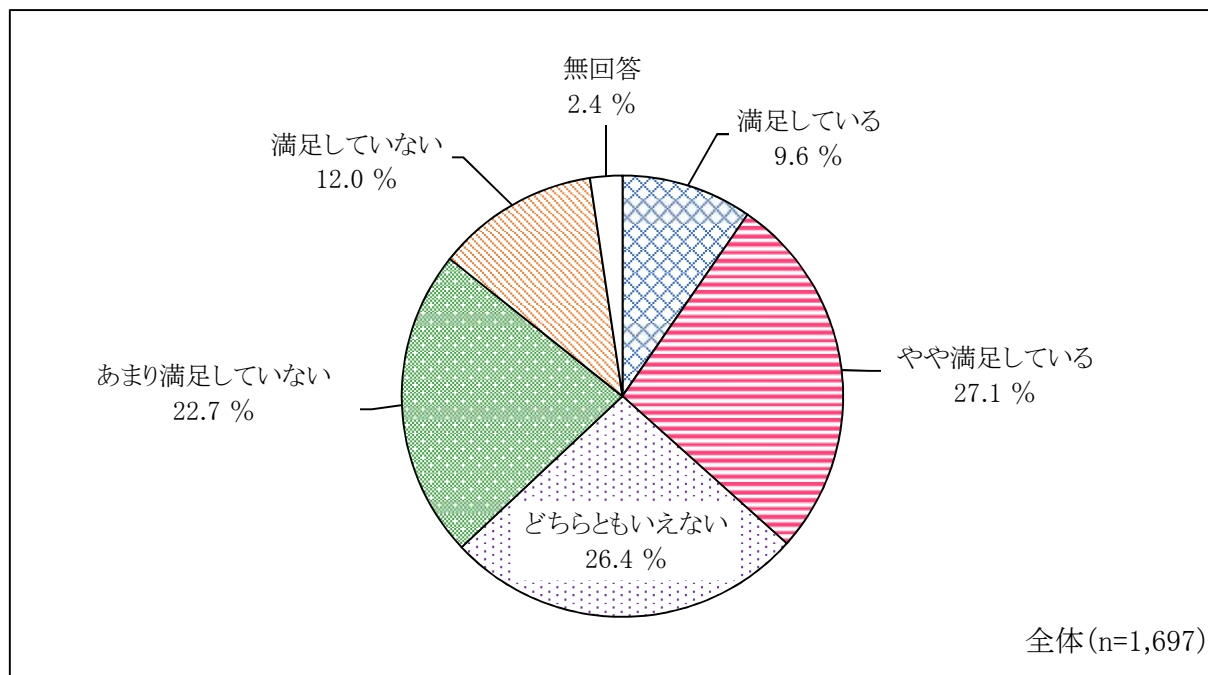
『満足している』と答えた割合は、男性(57.2%)と比べて女性(61.6%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて20代以下(77.0%)で最も高く、8割弱となっています。40～50代では5割半ばと他の年代と比べてやや低くなっています。



③-2 家計の状況(所得)



— 家計の状況(所得)に『満足している』のは3割半ば —

【全体結果】

家計の状況(所得)について「満足している」(9.6%)と「やや満足している」(27.1%)を合わせた『満足している』(36.7%)と答えた割合は3割半ばを占めています。「あまり満足していない」(22.7%)と「満足していない」(12.0%)を合わせた『満足していない』(34.7%)と答えた割合もほとんど差はなく、3割半ばとなっています。

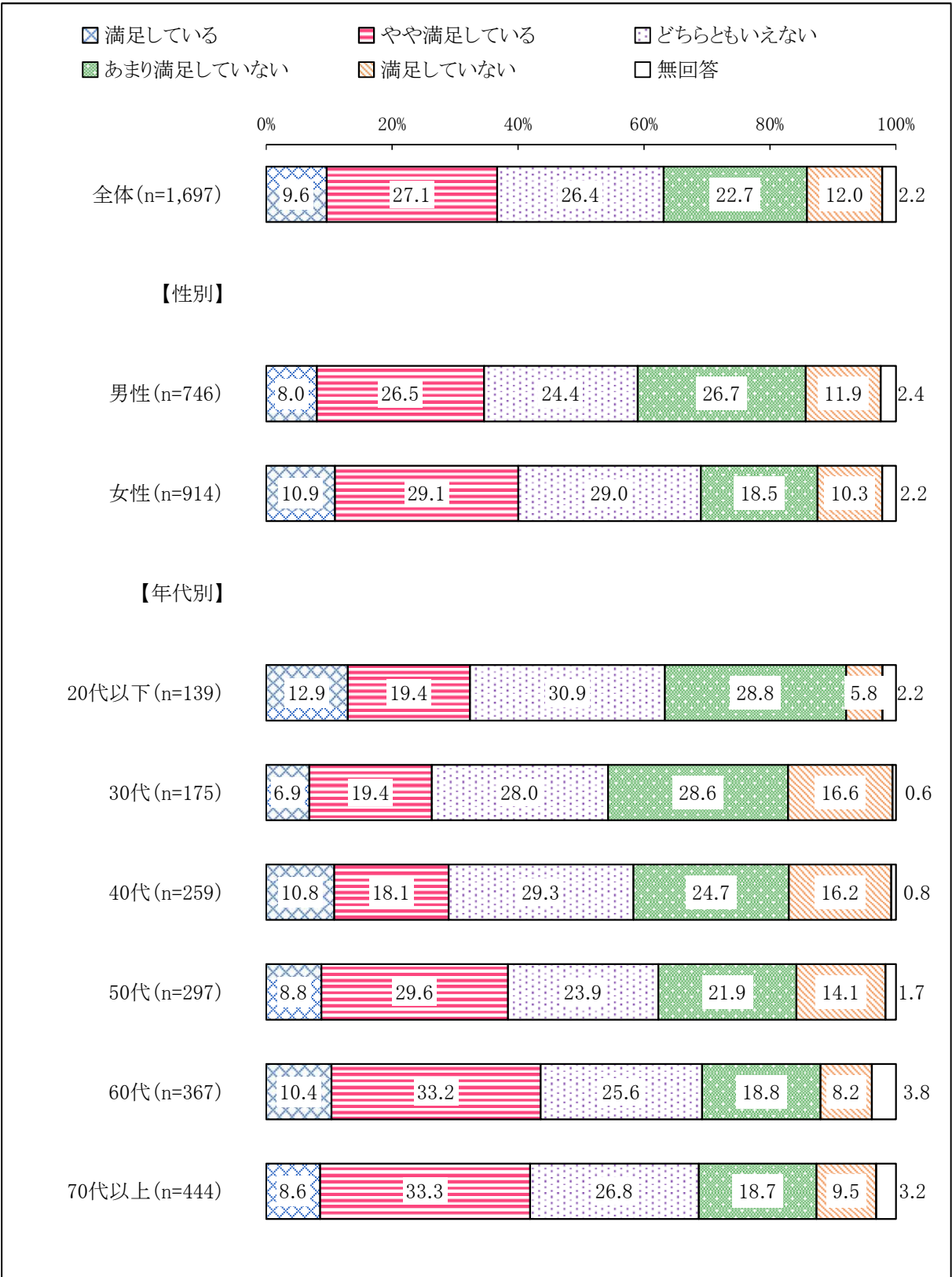
【属性別結果】

ア 性別

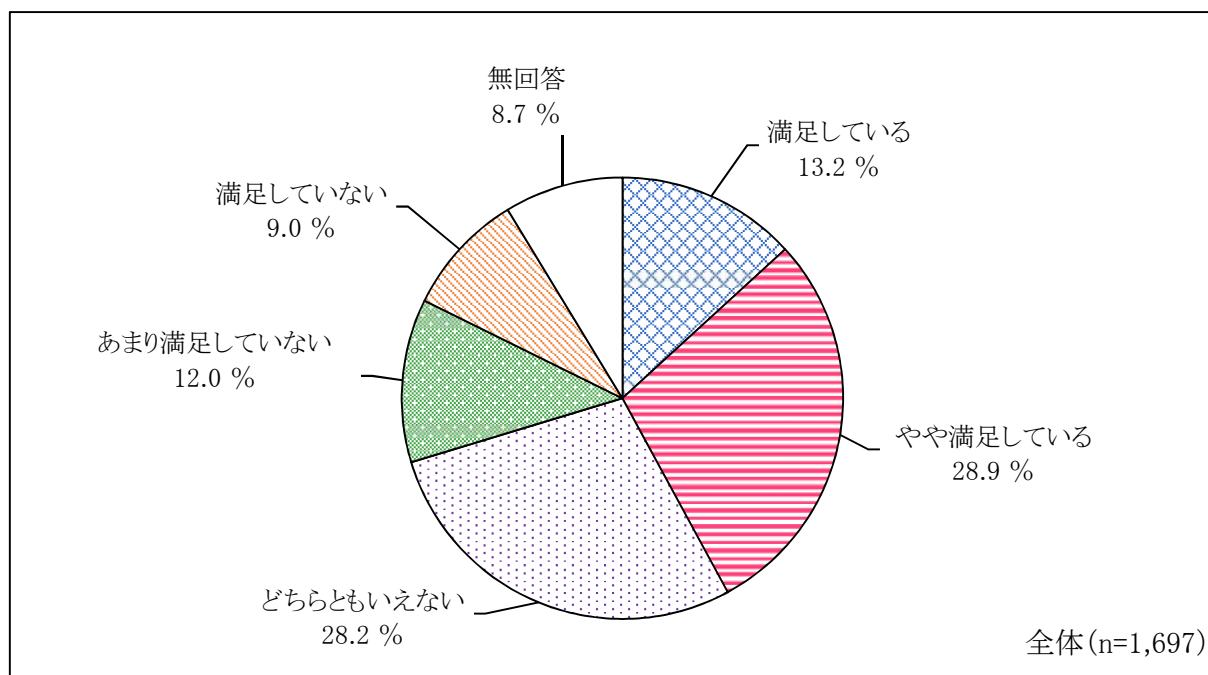
『満足している』と答えた割合は、男性(34.6%)と比べて女性(40.0%)で高くなっています。男性では『満足していない』(38.6%)と答えた割合が『満足している』(34.6%)と答えた割合を上回っています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて60代以上で高く4割を超えています。30~40代では3割未満と低く、『満足していない』と答えた割合が『満足している』と答えた割合を上回っています。



③-3 就業状況(仕事の有無・安定)



— 就業状況(仕事の有無・安定)に『満足している』のは約4割 —

【全体結果】

就業状況(仕事の有無・安定)について「満足している」(13.2%)と「やや満足している」(28.9%)を合わせた『満足している』(42.1%)と答えた割合は約4割を占めています。「あまり満足していない」(12.0%)と「満足していない」(9.0%)を合わせた『満足していない』(21.0%)と答えた割合は約2割となっています。

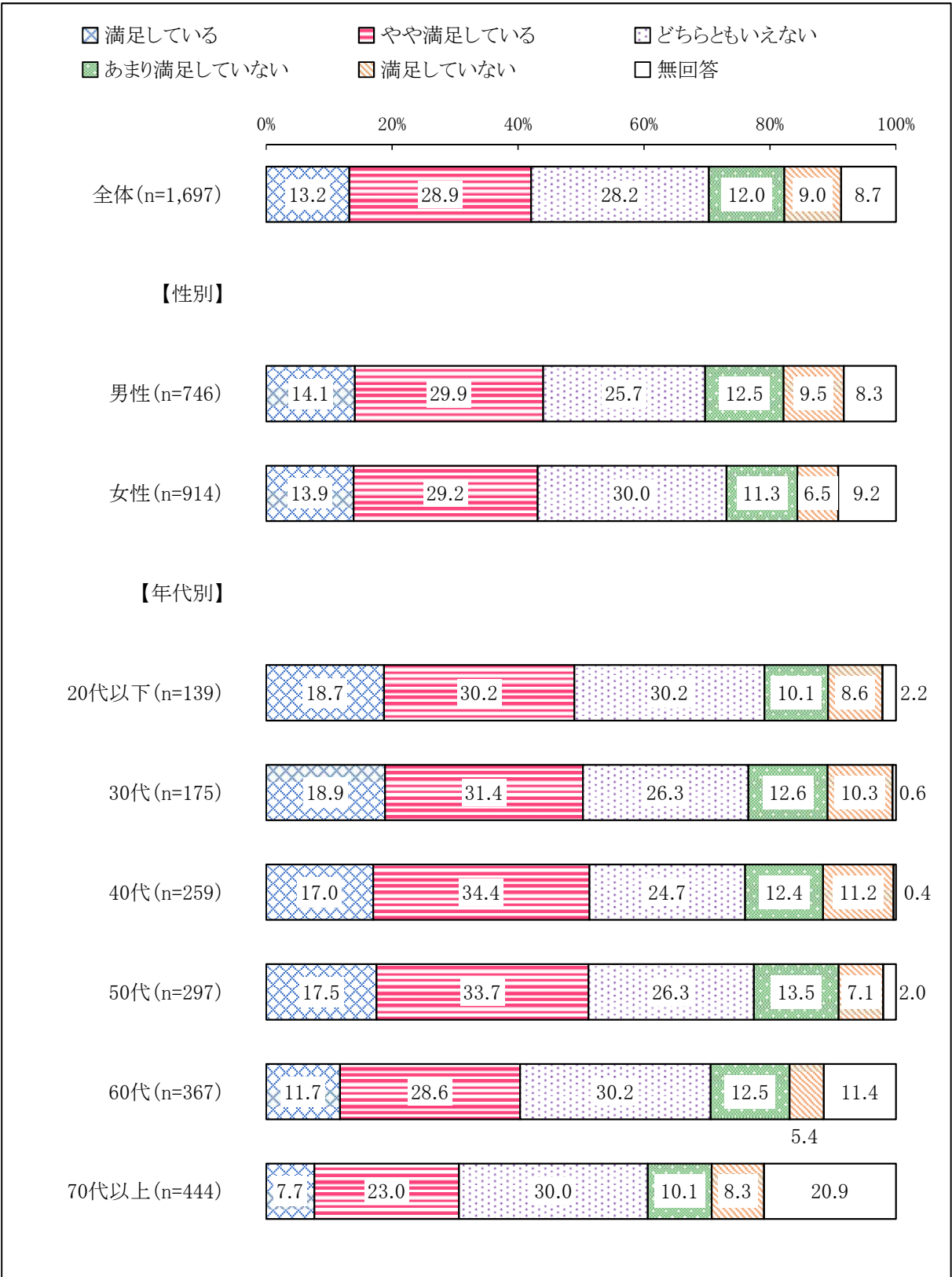
【属性別結果】

ア 性別

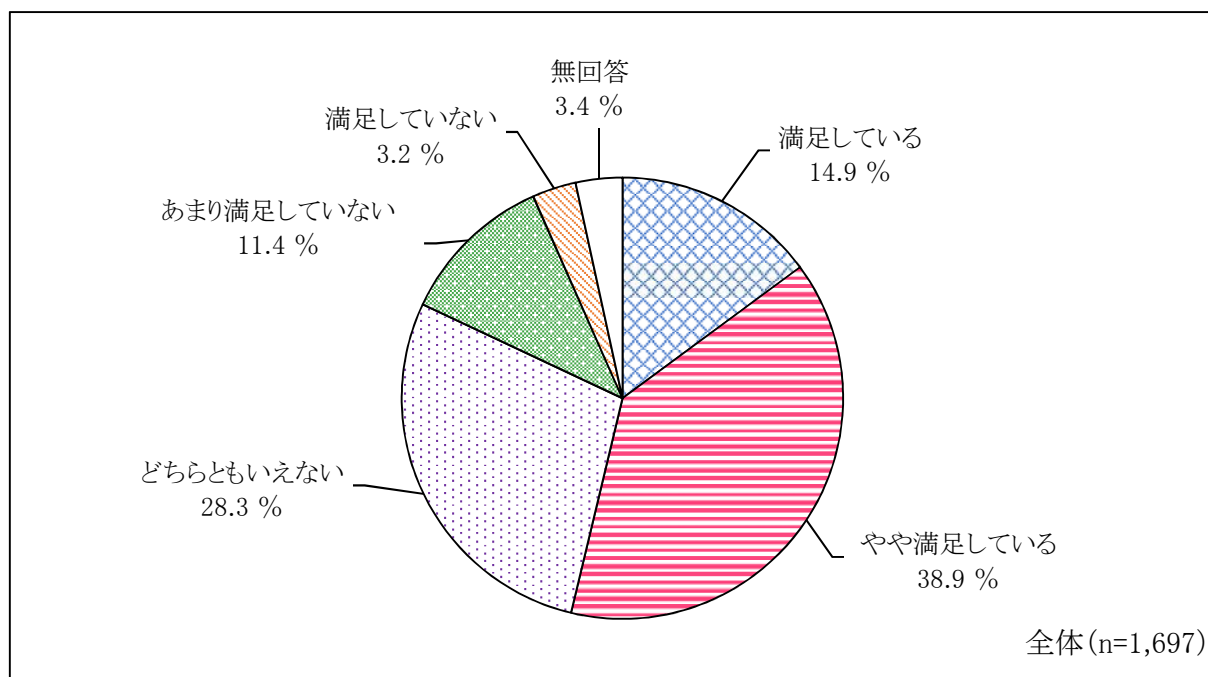
『満足している』と答えた割合は、性別による差はほとんど見られません。『満足していない』と答えた割合は、女性(17.7%)と比べて男性(22.0%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、年代による差は50代以下ではほとんど見られませんが、60代以上で割合が低くなっています。この結果に関しては、60代以上では就業している人が少なく「無回答」が多かったためであると考えられます。



③-4 生活環境(居住・福祉・教育環境など)



— 生活環境(居住・福祉・教育環境など)に『満足している』のは5割強 —

【全体結果】

生活環境(居住・福祉・教育環境など)について「満足している」(14.9%)と「やや満足している」(38.9%)を合わせた『満足している』(53.7%)と答えた割合は5割強を占めています。「あまり満足していない」(11.4%)と「満足していない」(3.2%)を合わせた『満足していない』(14.6%)と答えた割合は1割半ばとなっています。

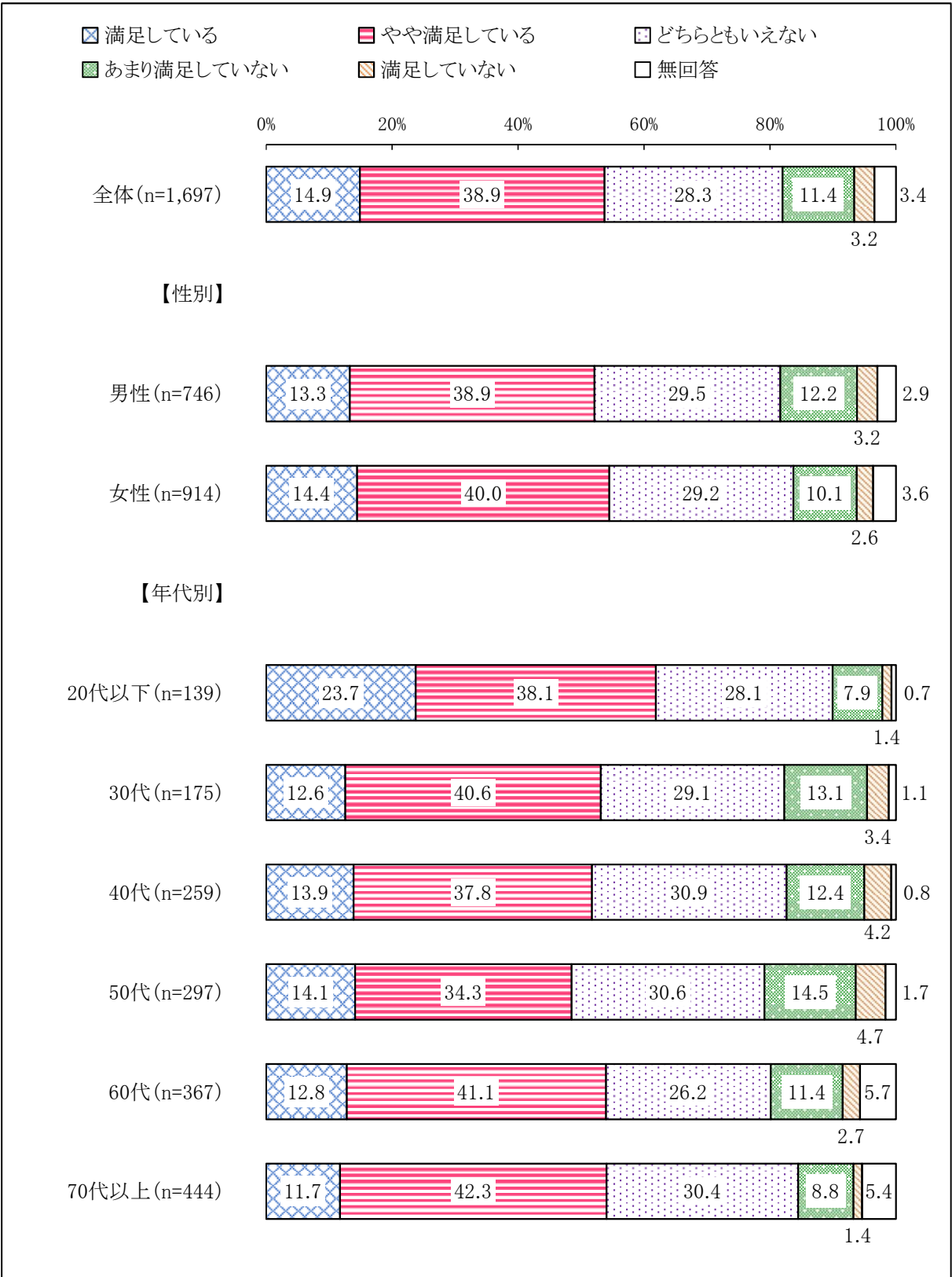
【属性別結果】

ア 性別

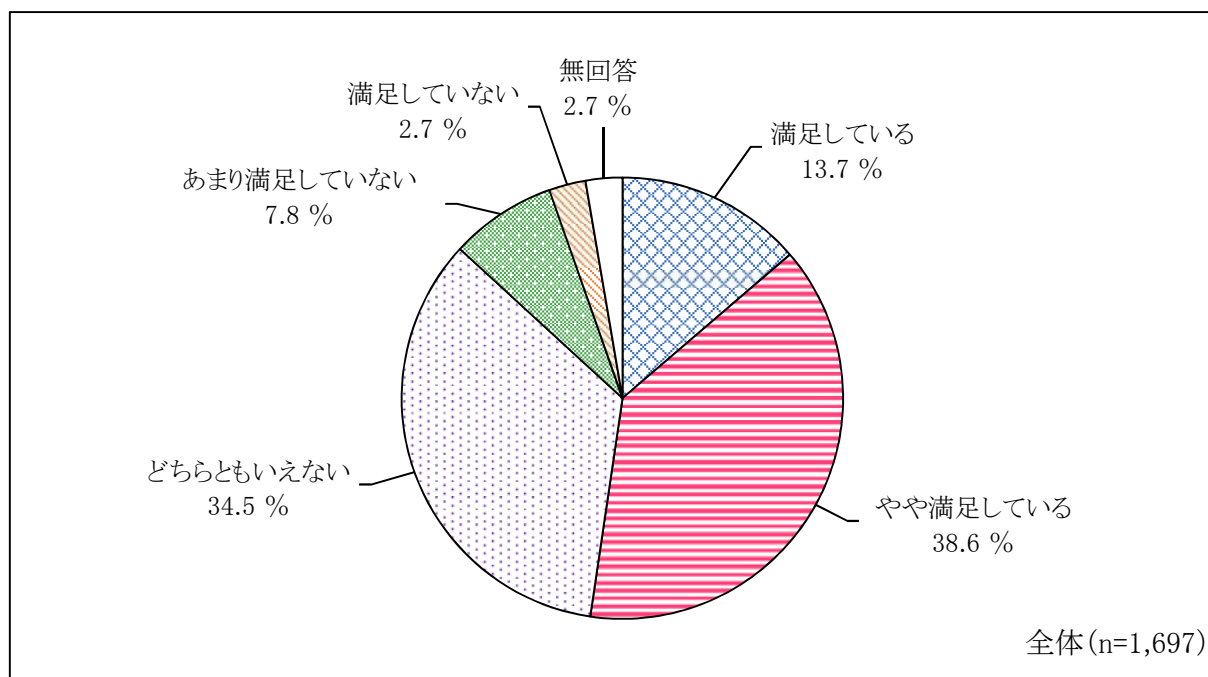
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて20代以下(61.9%)で高く、50代(48.5%)で最も低くなっています。



③-5 地域の治安・防災体制



— 地域の治安・防災体制に『満足している』のは5割強 —

【全体結果】

地域の治安・防災体制について「満足している」(13.7%)と「やや満足している」(38.6%)を合わせた『満足している』(52.3%)と答えた割合は5割強を占めています。「あまり満足していない」(7.8%)と「満足していない」(2.7%)を合わせた『満足していない』(10.5%)と答えた割合は約1割となっています。

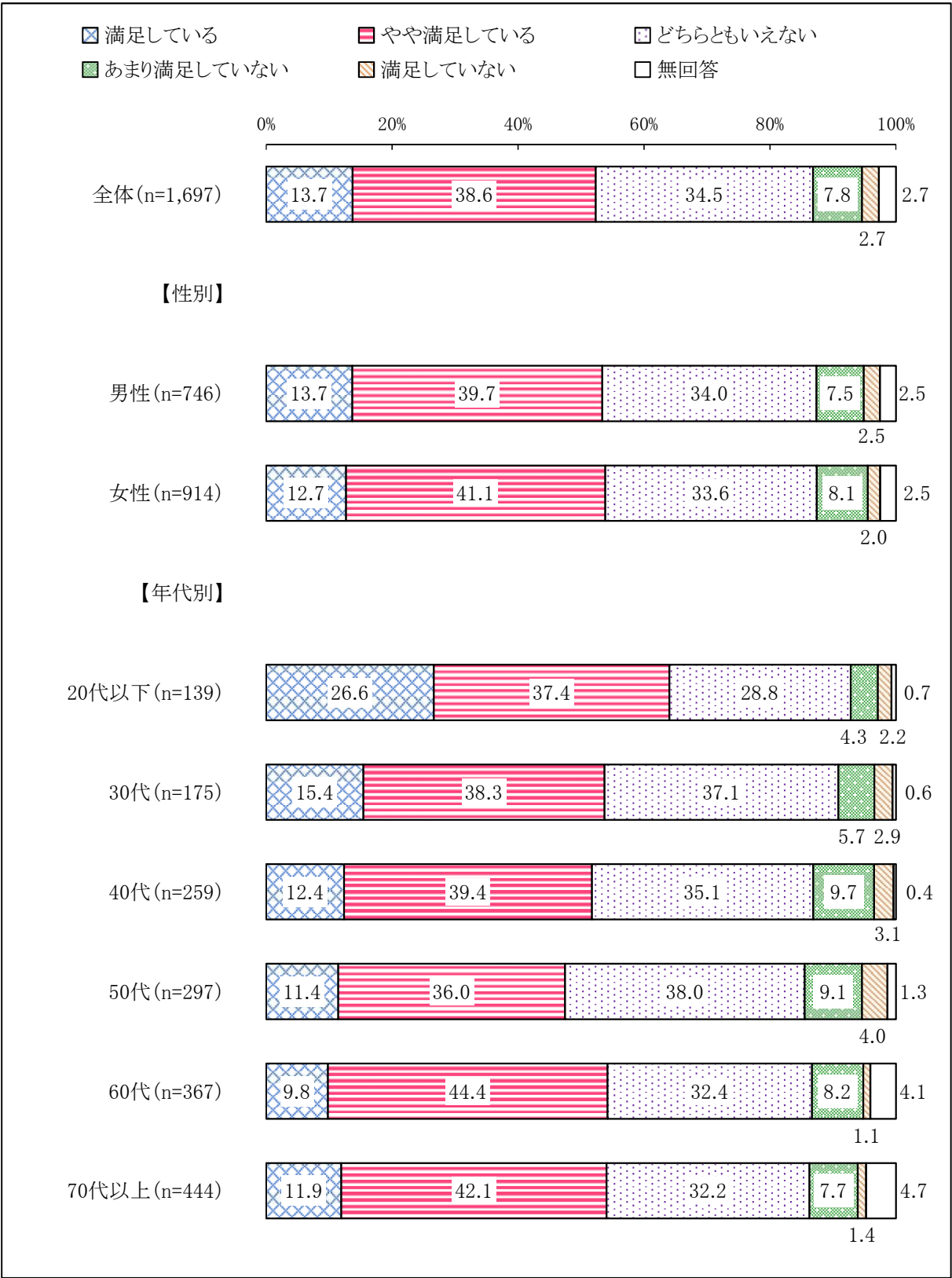
【属性別結果】

ア 性別

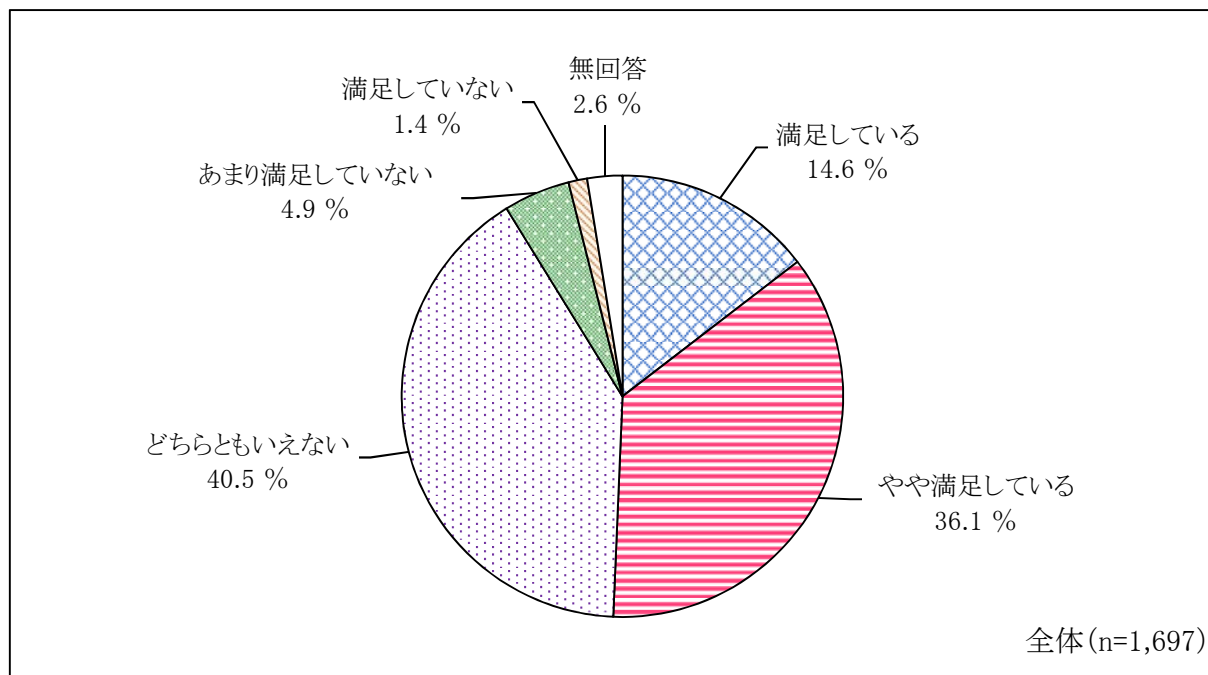
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(64.0%)で最も高く、50代(47.5%)で最も低くなっています。



③-6 地域の自然・歴史・文化



— 地域の自然・歴史・文化に『満足している』のは約5割 —

【全体結果】

地域の自然・歴史・文化について「満足している」(14.6%)と「やや満足している」(36.1%)を合わせた『満足している』(50.7%)と答えた割合は約5割を占めています。「あまり満足していない」(4.9%)と「満足していない」(1.4)を合わせた『満足していない』(6.2%)と答えた割合は1割未満でした。

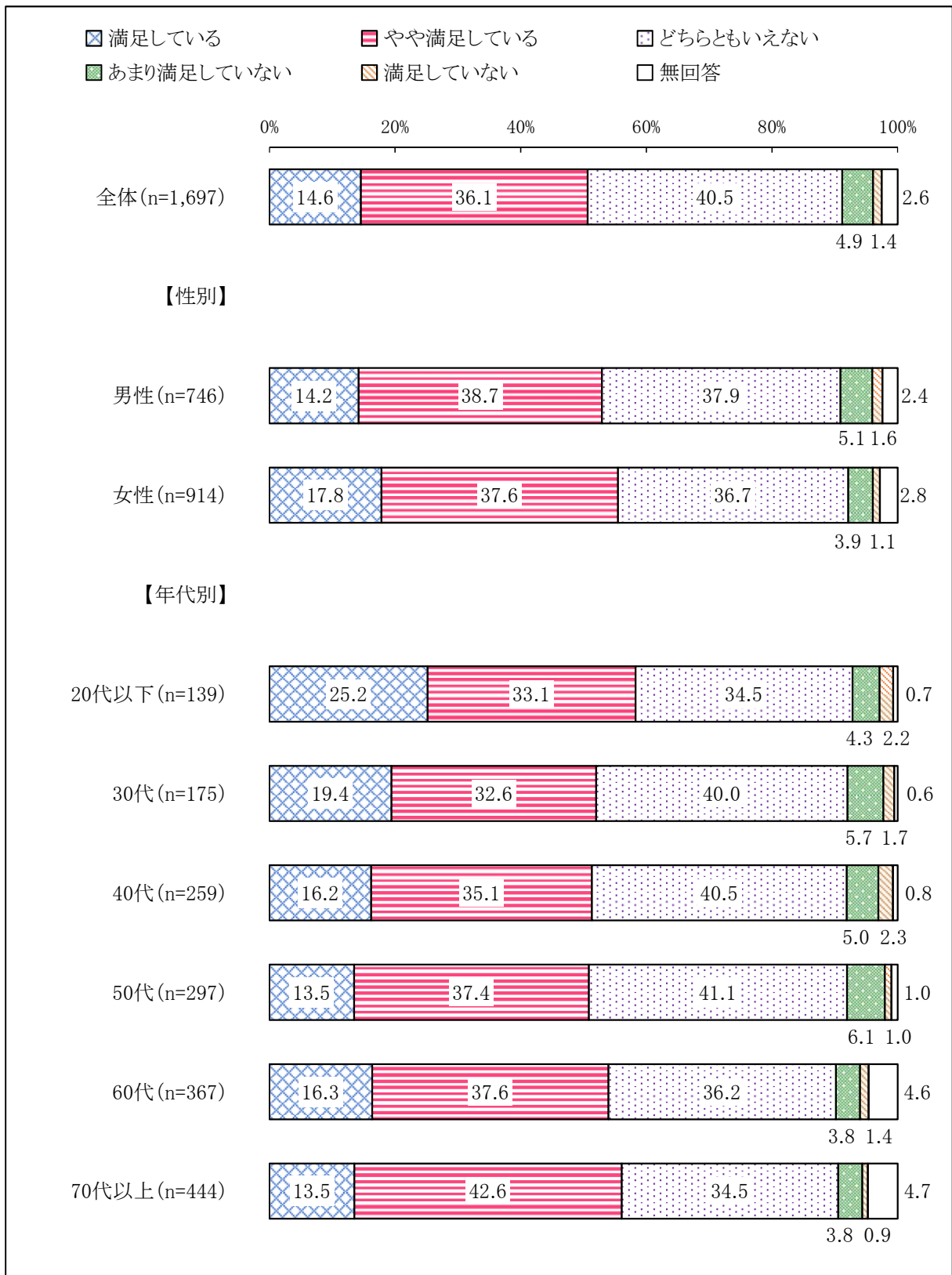
【属性別結果】

ア 性別

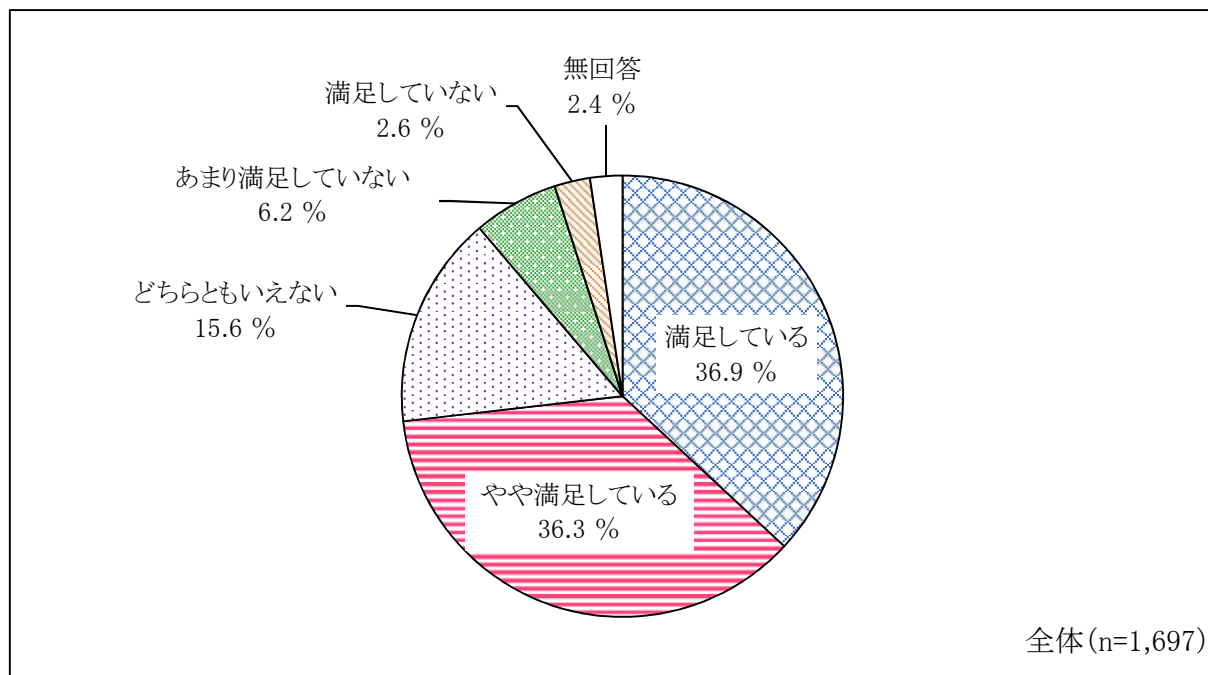
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、他の年代と比べて20代以下(58.3%)でやや高く、「満足している」(25.2%)と答えた割合が最も高くなっています。



③-7 家族関係



— 家族関係に『満足している』のは7割強 —

【全体結果】

家族関係について「満足している」(36.9%)と「やや満足している」(36.3%)を合わせた『満足している』(73.2%)と答えた割合は7割強を占めています。「あまり満足していない」(6.2%)と「満足していない」(2.6%)を合わせた『満足していない』(8.9%)と答えた割合は約1割となっています。

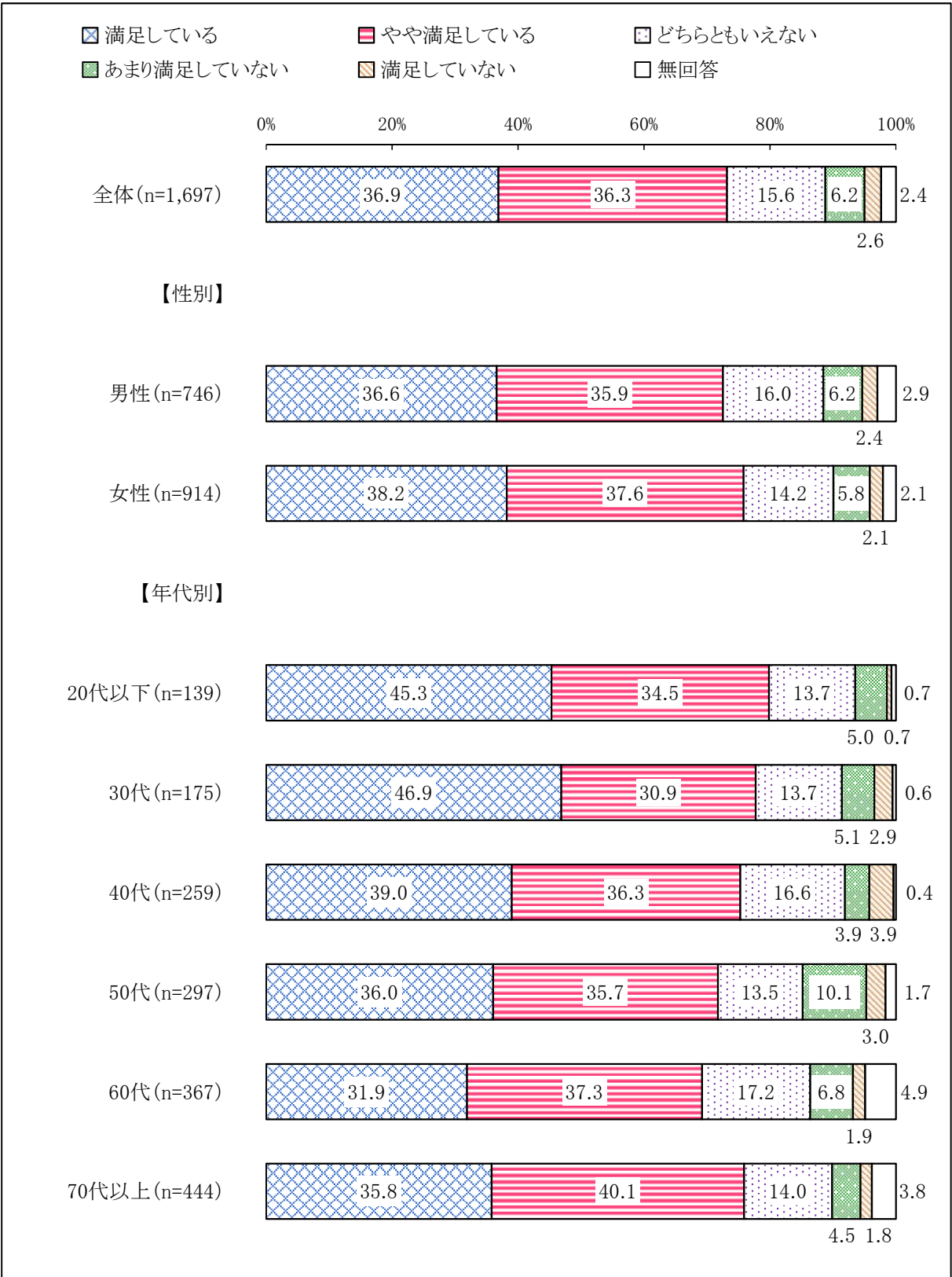
【属性別結果】

ア 性別

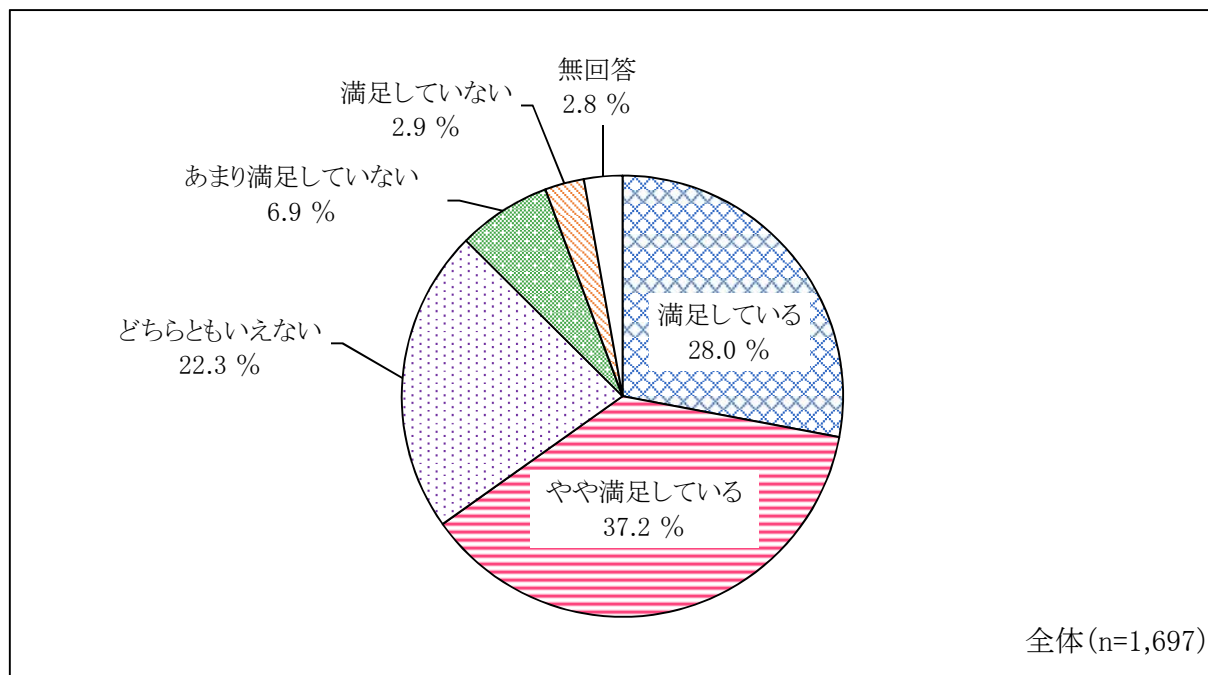
『満足している』と答えた割合は、男性(72.5%)と比べて女性(75.8%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(79.9%)で最も高く、60代(69.2%)で最も低くなっています。



③-8 友人関係



— 友人関係に『満足している』のは6割半ば —

【全体結果】

友人関係について「満足している」(28.0%)と「やや満足している」(37.2%)を合わせた『満足している』(65.2%)と答えた割合は6割半ばを占めています。「あまり満足していない」(6.9%)と「満足していない」(2.9%)を合わせた『満足していない』(9.7%)と答えた割合は約1割となっています。

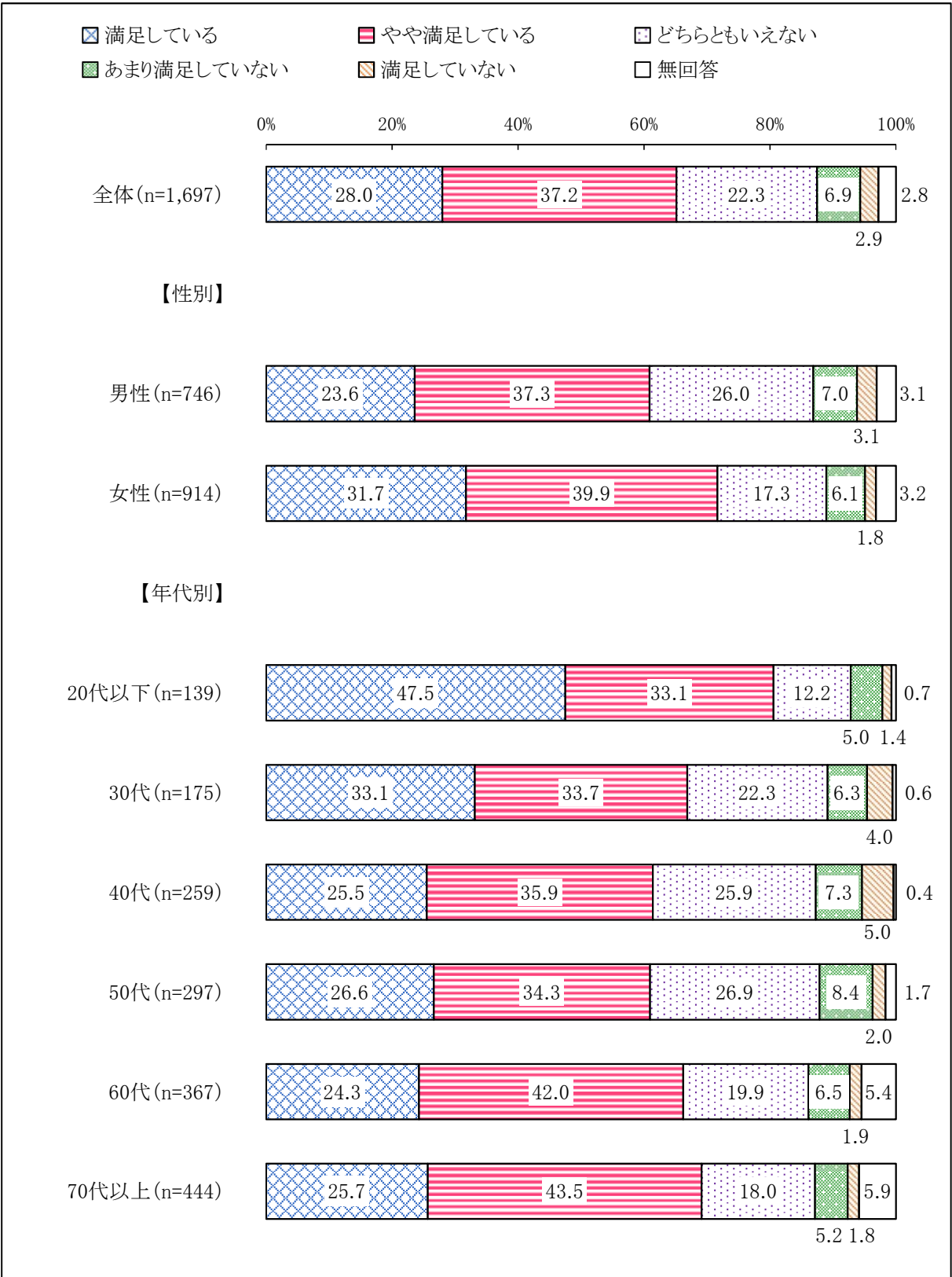
【属性別結果】

ア 性別

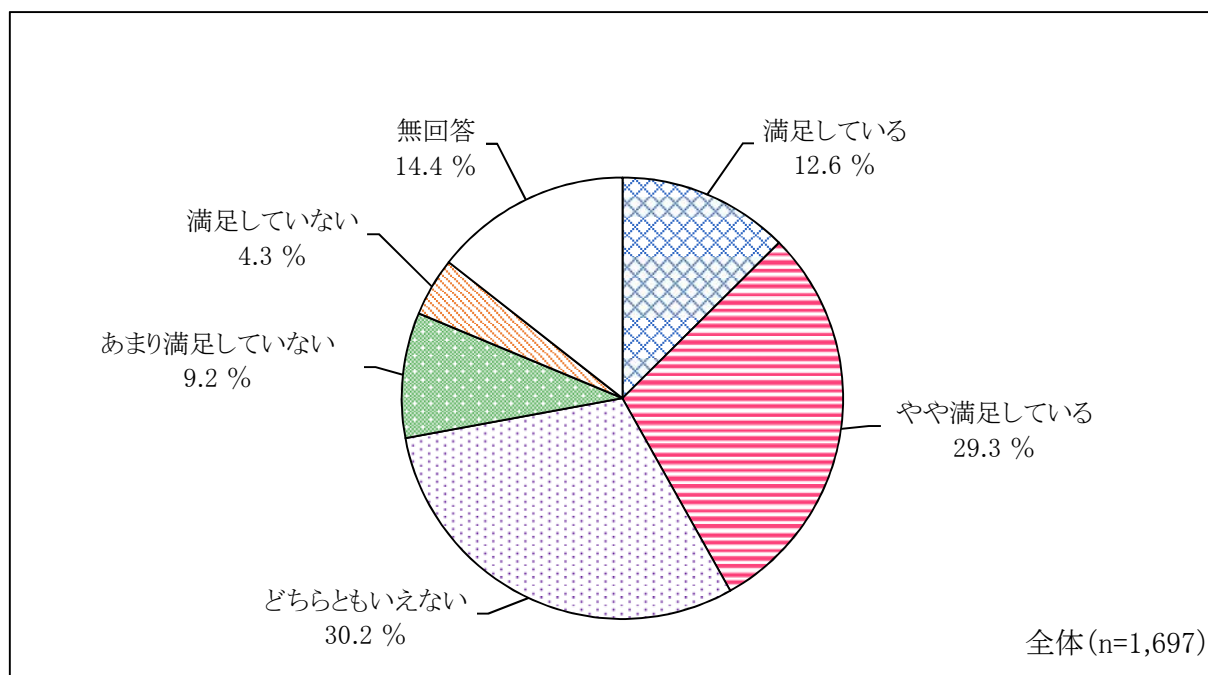
『満足している』と答えた割合は、男性(60.9%)と比べて女性(71.7%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(80.6%)で最も高く、「満足している」(47.5%)の割合が他の年代と比べて突出しています。



③-9 職場の人間関係



— 職場の人間関係に『満足している』のは約4割 —

【全体結果】

職場の人間関係について「満足している」(12.6%)と「やや満足している」(29.3%)を合わせた『満足している』(41.9%)と答えた割合は約4割を占めています。「あまり満足していない」(9.2%)と「満足していない」(4.3%)を合わせた『満足していない』(13.5%)と答えた割合は1割強となっています。

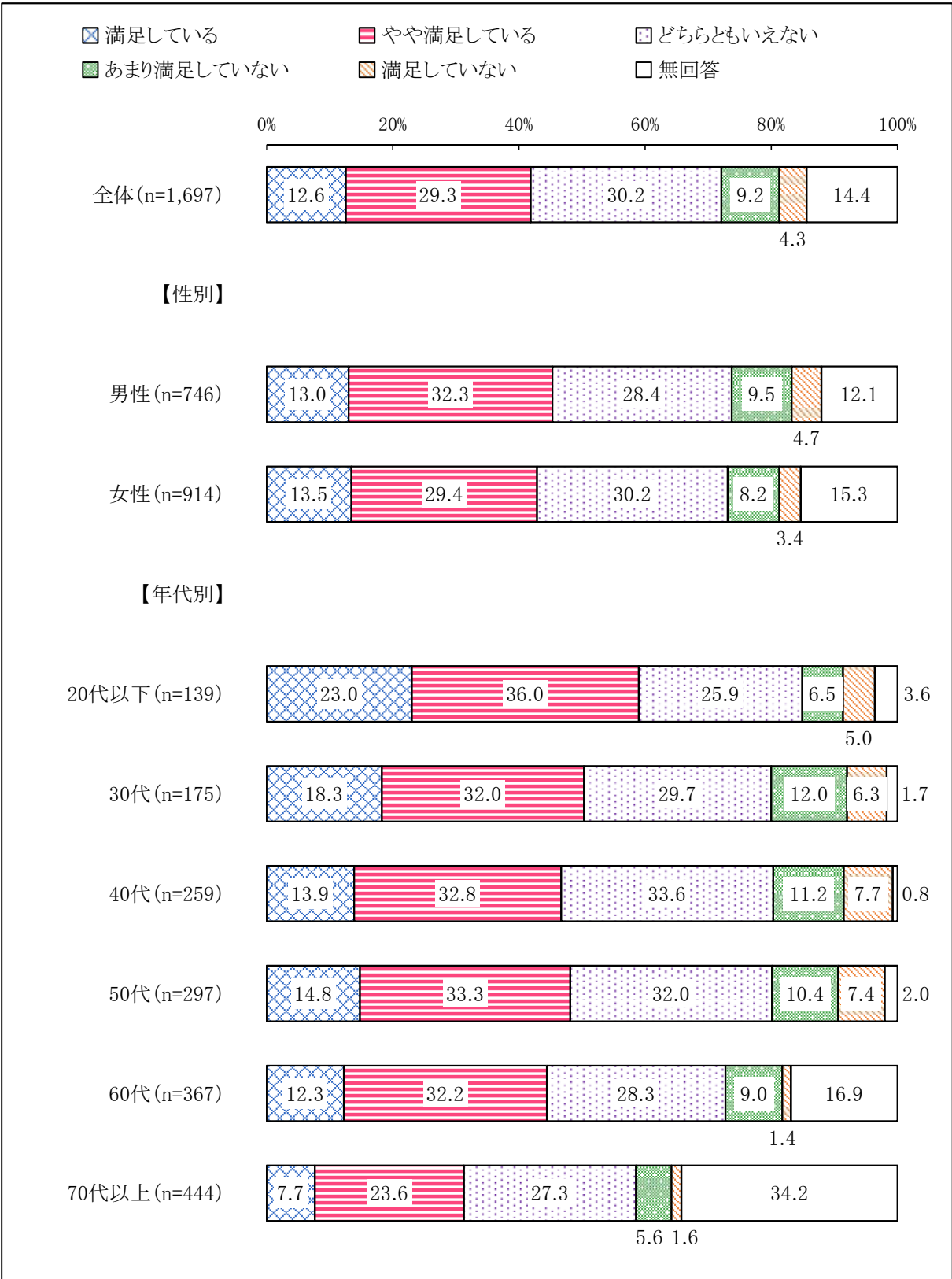
【属性別結果】

ア 性別

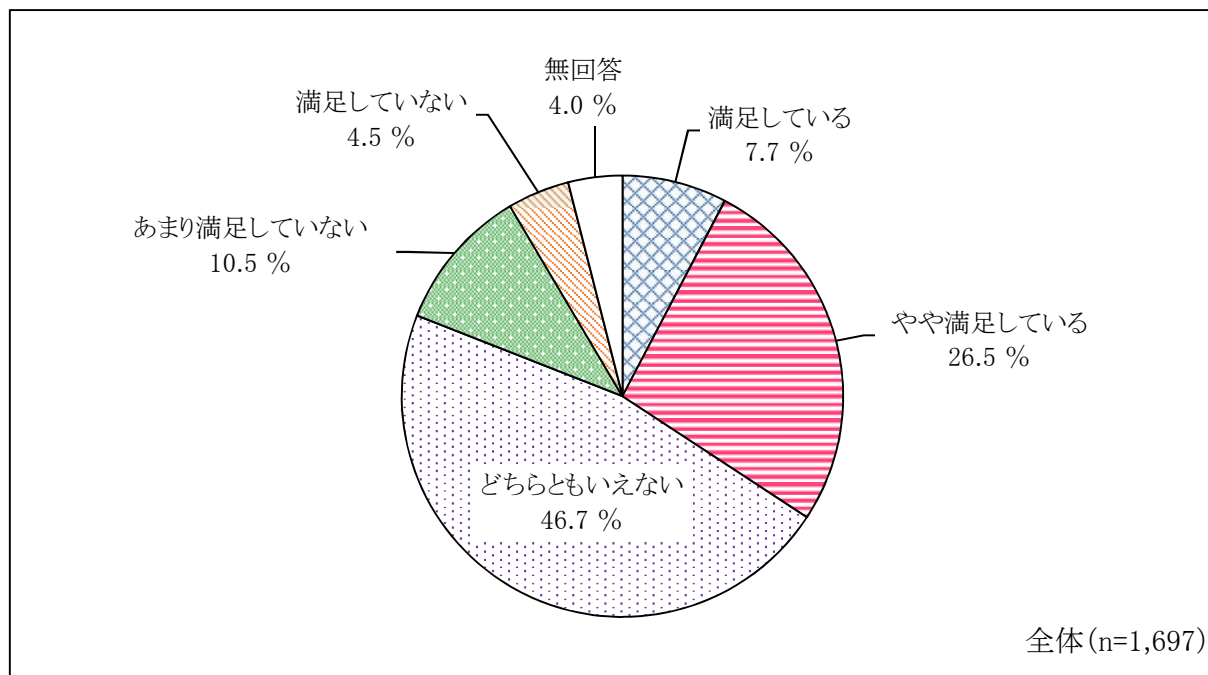
『満足している』と答えた割合は性別による大きな差は見られませんが、『満足していない』と答えた割合は女性(11.6%)と比べて男性(14.2%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下(59.0%)で最も高く、70代以上(31.3%)で最も低くなっています。70代以上では就業している人が少なく「無回答」が多いため割合が低くなっています。



③-10 地域コミュニティとの関係



— 地域コミュニティとの関係に『満足している』のは3割半ば —

【全体結果】

地域コミュニティとの関係について「満足している」(7.7%)と「やや満足している」(26.5%)を合わせた『満足している』(34.2%)と答えた割合は3割半ばを占めています。「あまり満足していない」(10.5%)と「満足していない」(4.5%)を合わせた『満足していない』(15.1%)と答えた割合は1割半ばとなっています。「どちらともいえない」(46.7%)という回答が多くなっています。

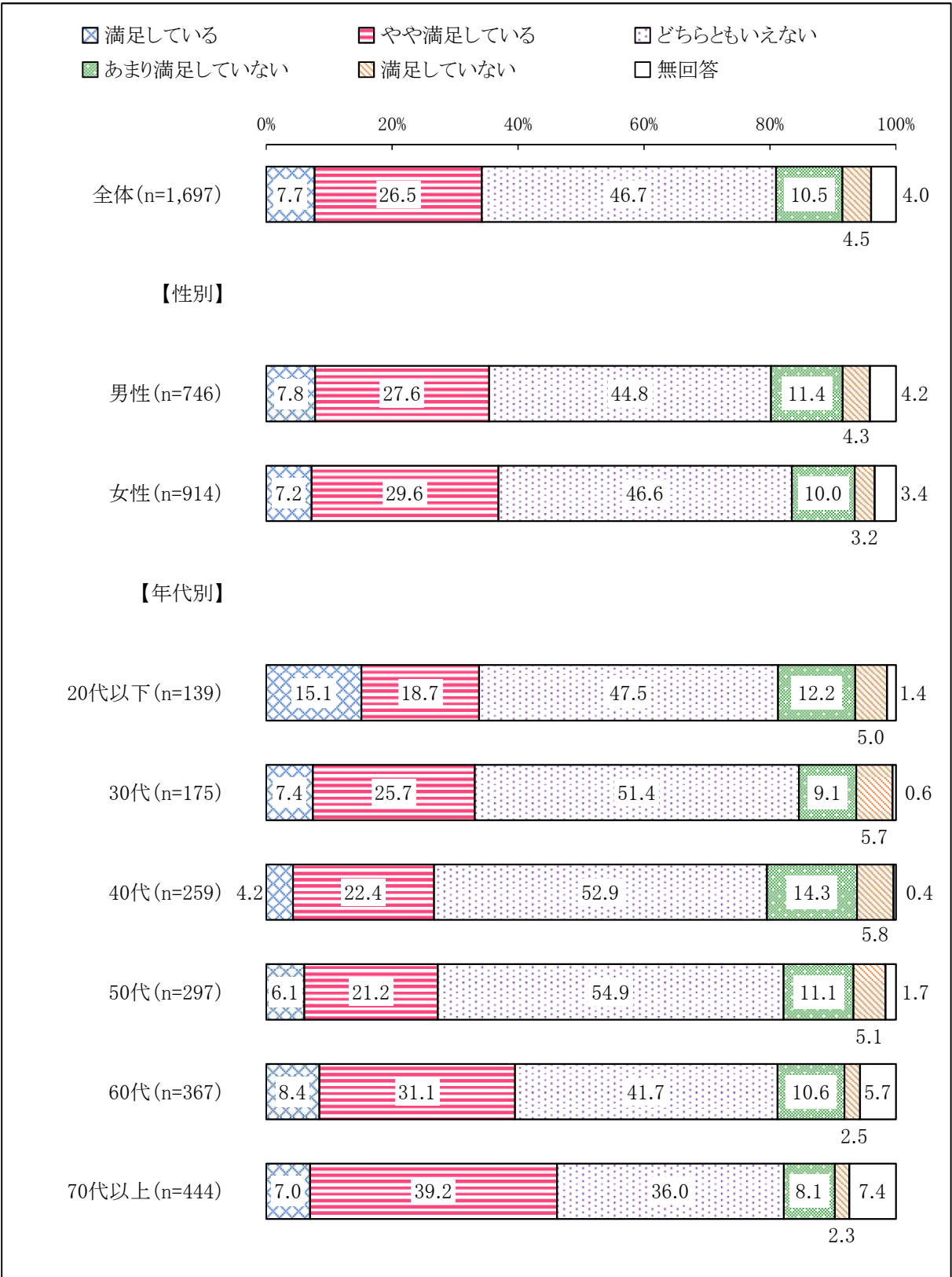
【属性別結果】

ア 性別

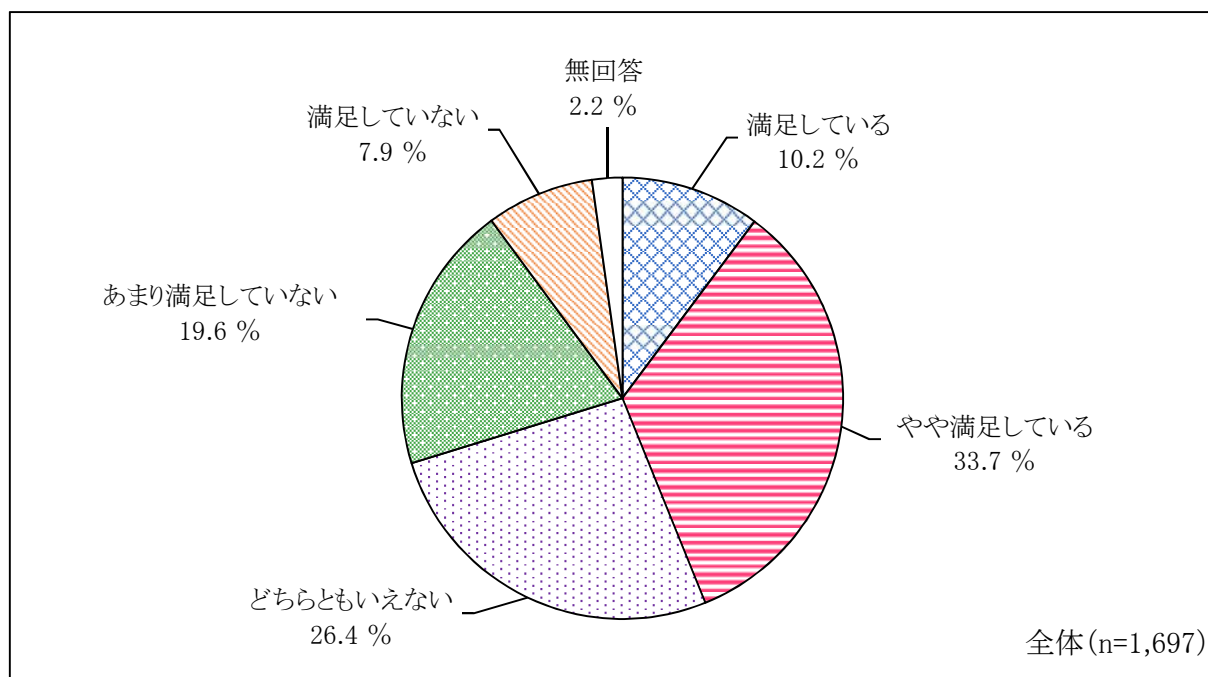
性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、70代以上(46.2%)で最も高く4割半ばとなり、40～50代で低く3割未満でした。



③-11 精神的なゆとり



— 精神的なゆとりに『満足している』のは4割強 —

【全体結果】

精神的なゆとりについて「満足している」(10.2%)と「やや満足している」(33.7%)を合わせた『満足している』(43.9%)と答えた割合は4割強を占めています。「あまり満足していない」(19.6%)と「満足していない」(7.9%)を合わせた『満足していない』(27.5%)と答えた割合は3割弱となっています。

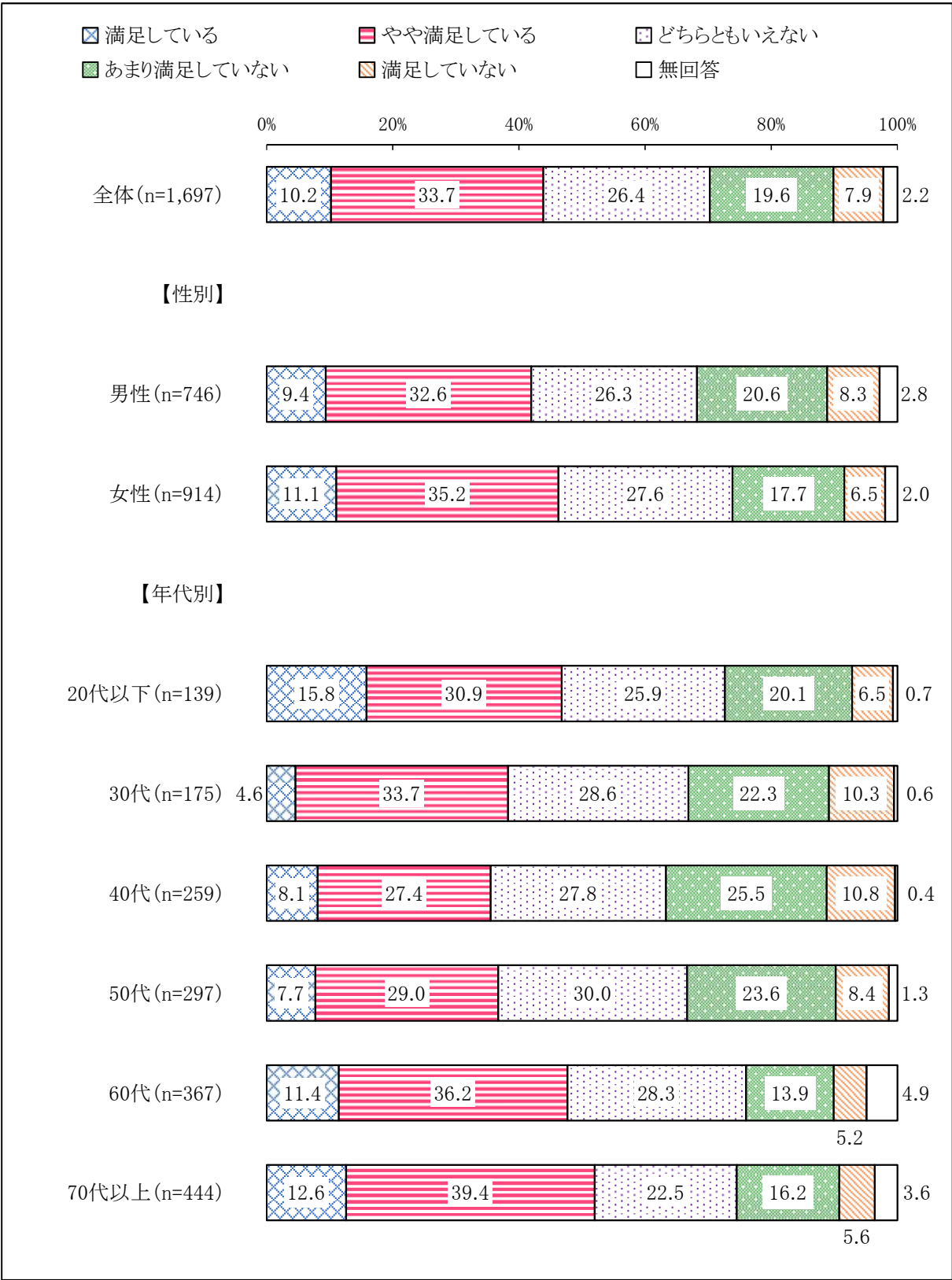
【属性別結果】

ア 性別

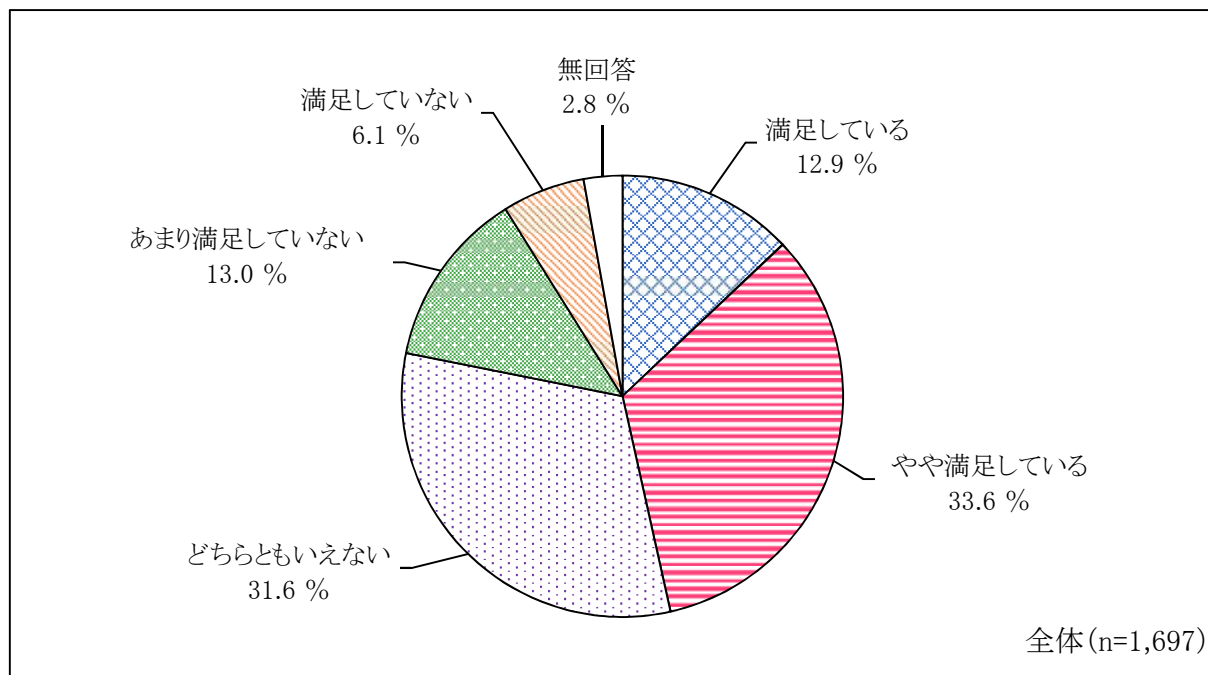
『満足している』と答えた割合は、男性(42.0%)と比べて女性(46.3%)でやや高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、70代以上(52.0%)で最も高く約5割となり、40~50代で低くなっています。



③-12 生きがい



— 生きがいに『満足している』のは4割半ば —

【全体結果】

生きがいについて「満足している」(12.9%)と「やや満足している」(33.6%)を合わせた『満足している』(46.5%)と答えた割合は4割半ばを占めています。「あまり満足していない」(13.0%)と「満足していない」(6.1%)を合わせた『満足していない』(19.0%)と答えた割合は約2割となっています。

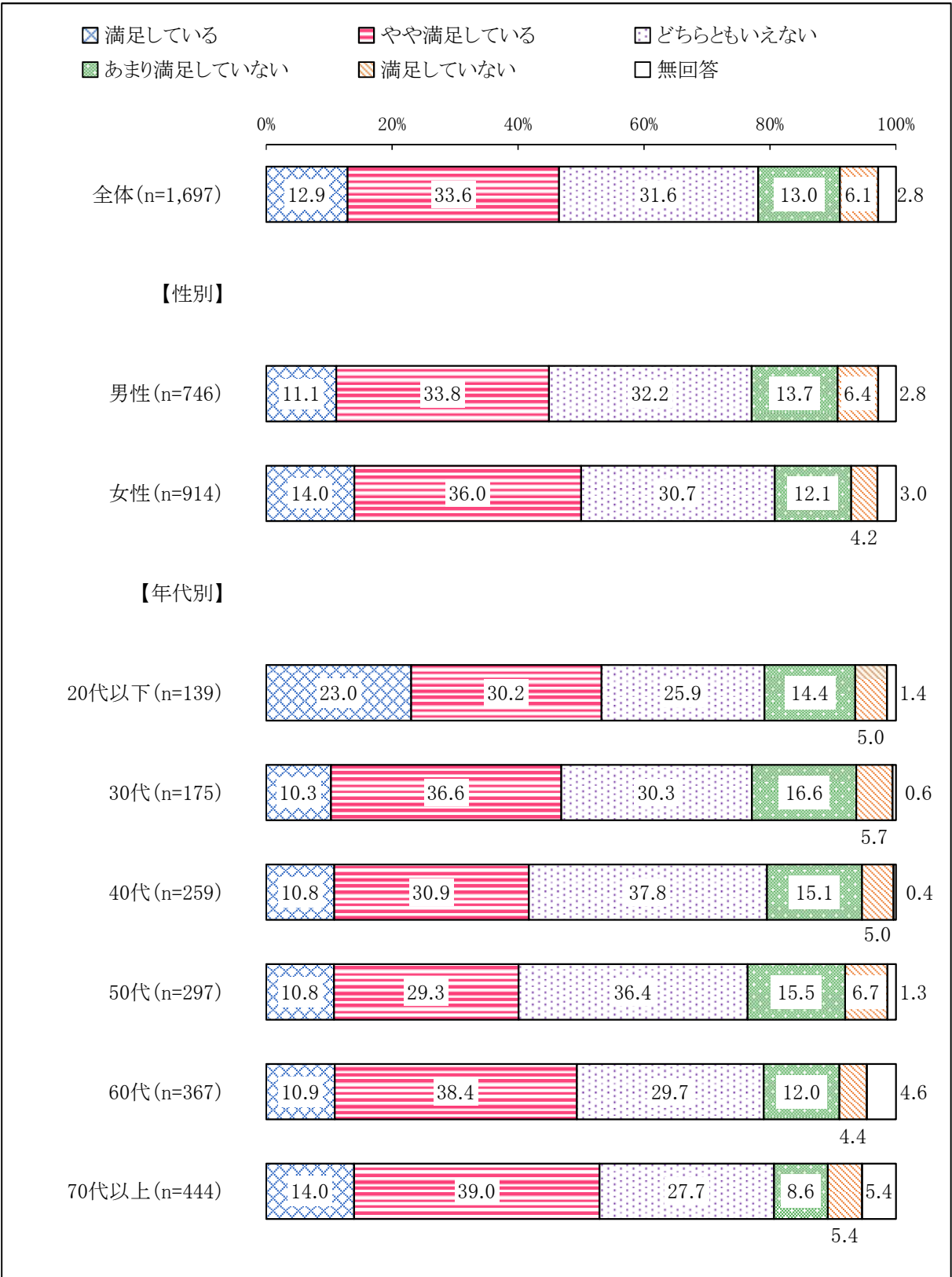
【属性別結果】

ア 性別

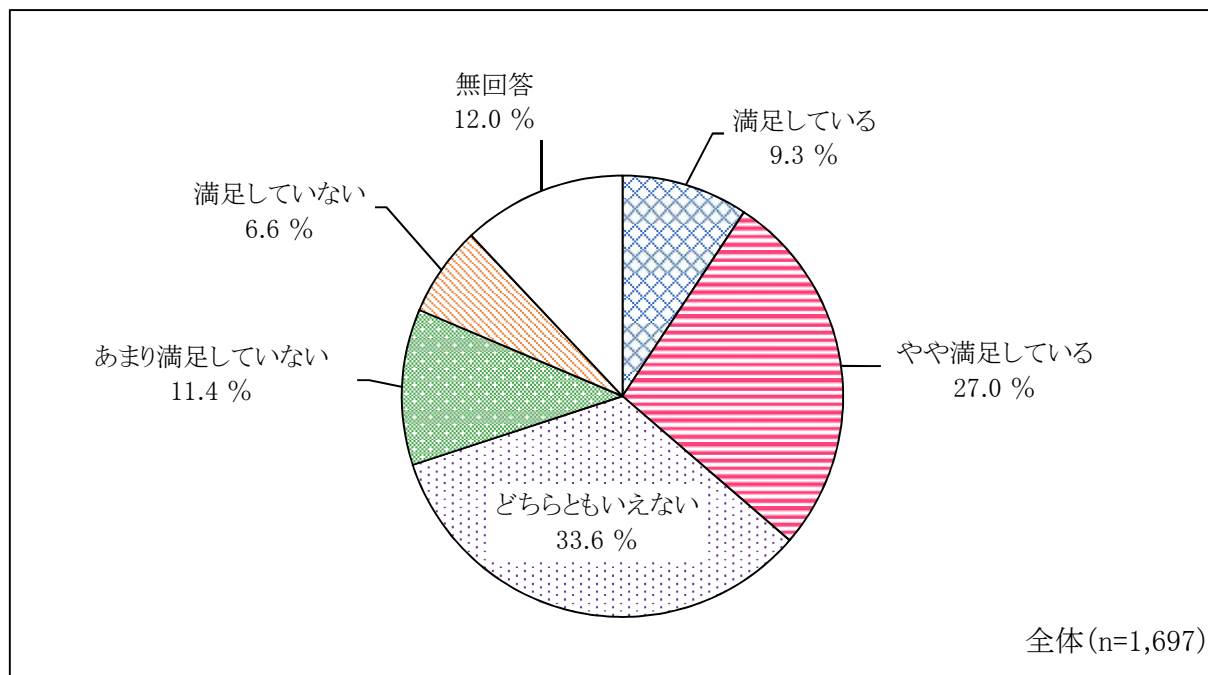
『満足している』と答えた割合は、男性(44.9%)と比べて女性(50.0%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は、20代以下と70代以上で高く、半数以上を占めています。



③-13 仕事の充実度



— 仕事の充実度に『満足している』のは3割半ば —

【全体結果】

仕事の充実度について「満足している」(9.3%)と「やや満足している」(27.0%)を合わせた『満足している』(36.3%)と答えた割合は3割半ばを占めています。「あまり満足していない」(11.4%)と「満足していない」(6.6%)を合わせた『満足していない』(18.0%)と答えた割合は約2割となっています。

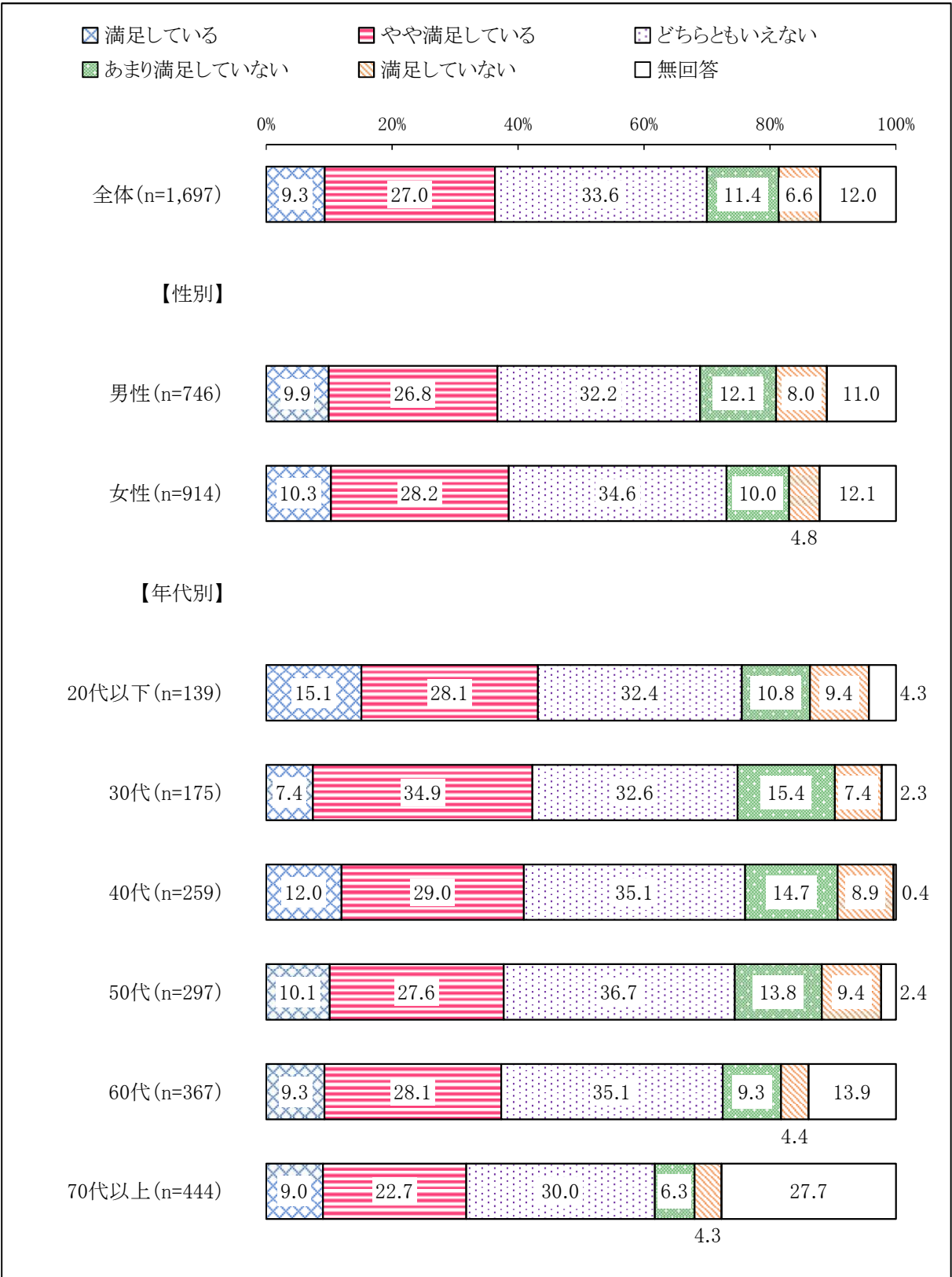
【属性別結果】

ア 性別

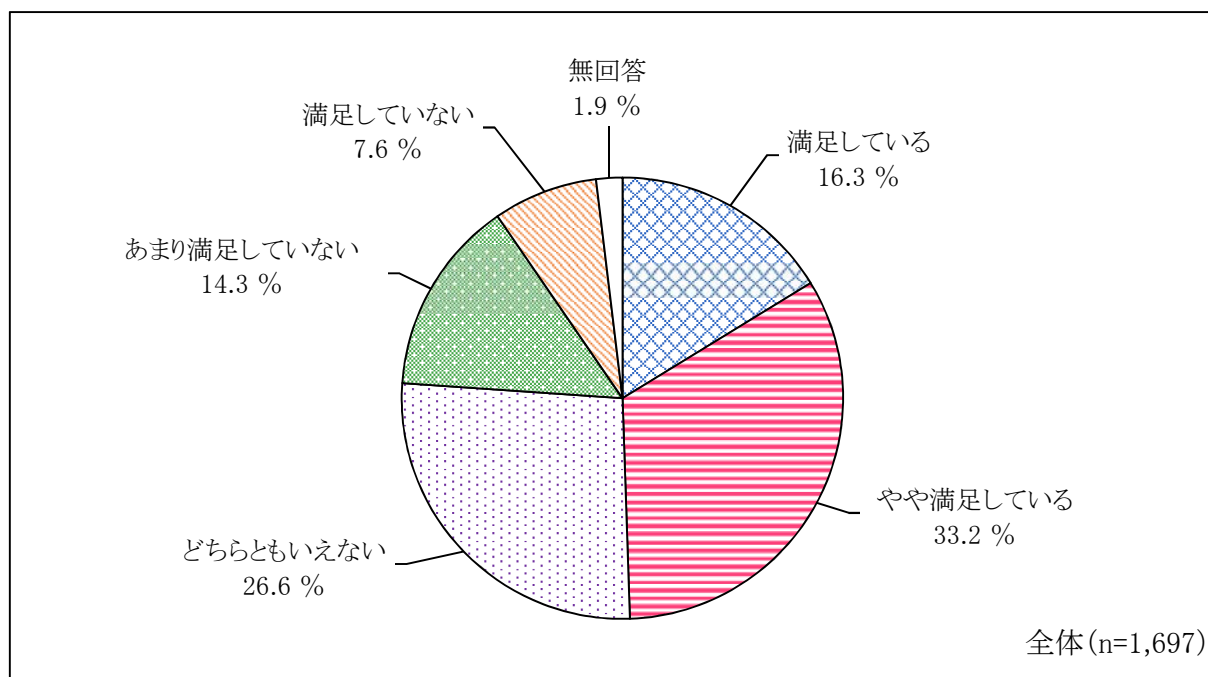
『満足している』と答えた割合は性別による大きな差は見られませんが、『満足していない』と答えた割合は女性(14.8%)と比べて男性(20.1%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は年代による大きな差は見られません。70代以上では就業している人が少なく「無回答」が多いため割合が低くなっています。



③-14 自由な時間・充実した余暇



— 自由な時間・充実した余暇に『満足している』のは約5割 —

【全体結果】

自由な時間・充実した余暇について「満足している」(16.3%)と「やや満足している」(33.2%)を合わせた『満足している』(49.5%)と答えた割合は約5割を占めています。「あまり満足していない」(14.3%)と「満足していない」(7.6%)を合わせた『満足していない』(22.0%)と答えた割合は約2割となっています。

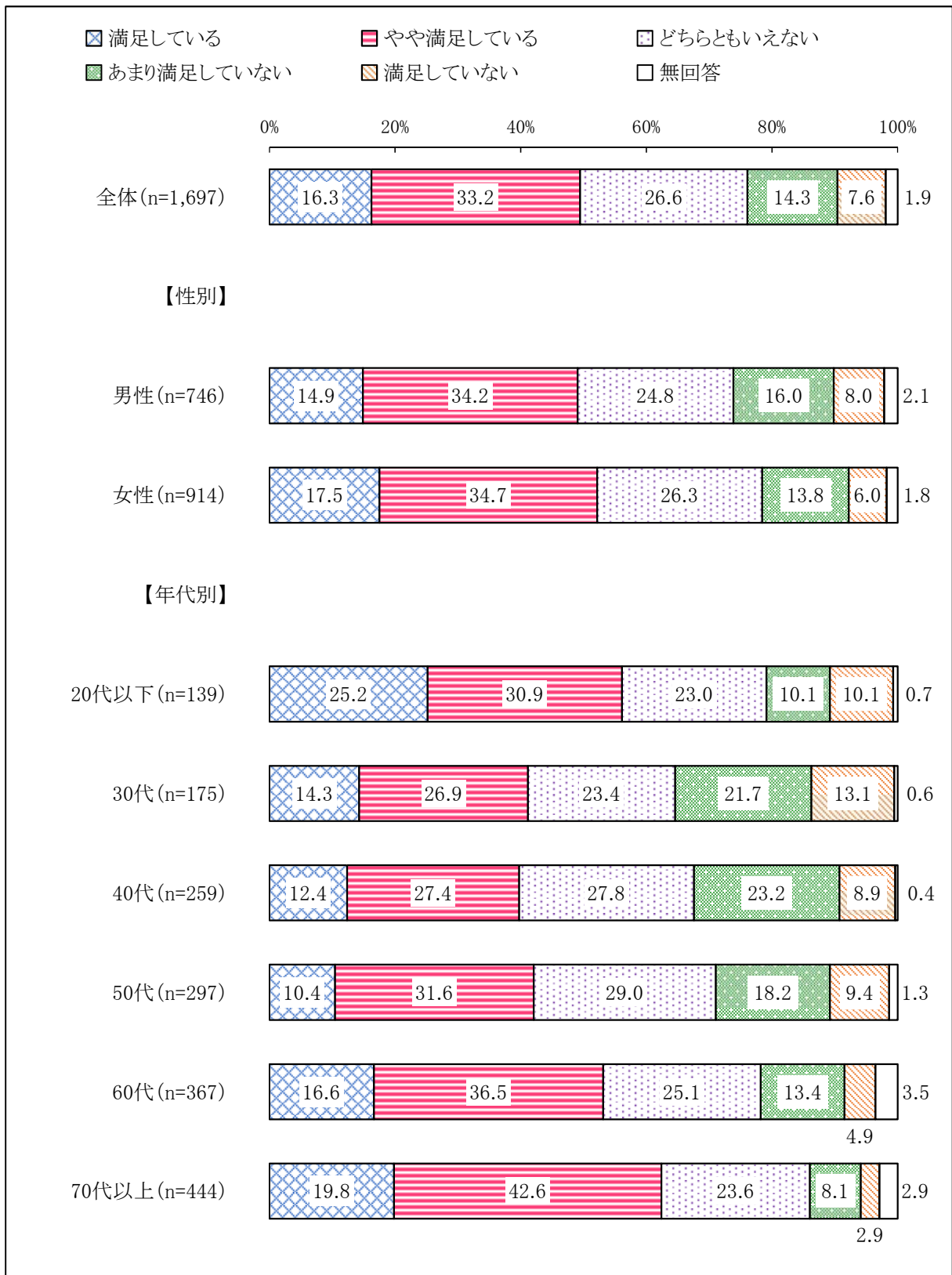
【属性別結果】

ア 性別

『満足している』と答えた割合は男性(49.1%)と比べて女性(52.2%)で高くなっています。

イ 年代別

『満足している』と答えた割合は70代以上(62.4%)で最も高く6割強となり、40代(39.8%)で最も低く約4割となっています。

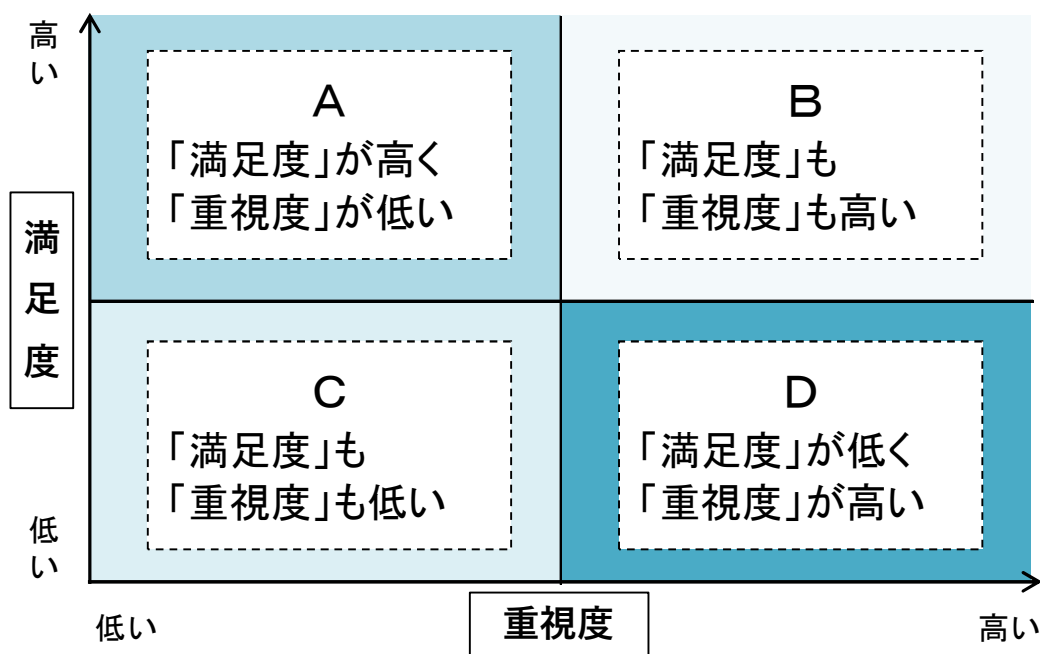


(3) 満足度と重視度の関係について

《満足度と重視度の散布図》

本県の取組における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重視度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重視度」の数値を散布図に示しました。

「満足度」「重視度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



A：維持領域

重視度は低いが高満足度が高い取組は、現状を維持していく項目

B：重点的維持領域

重視度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

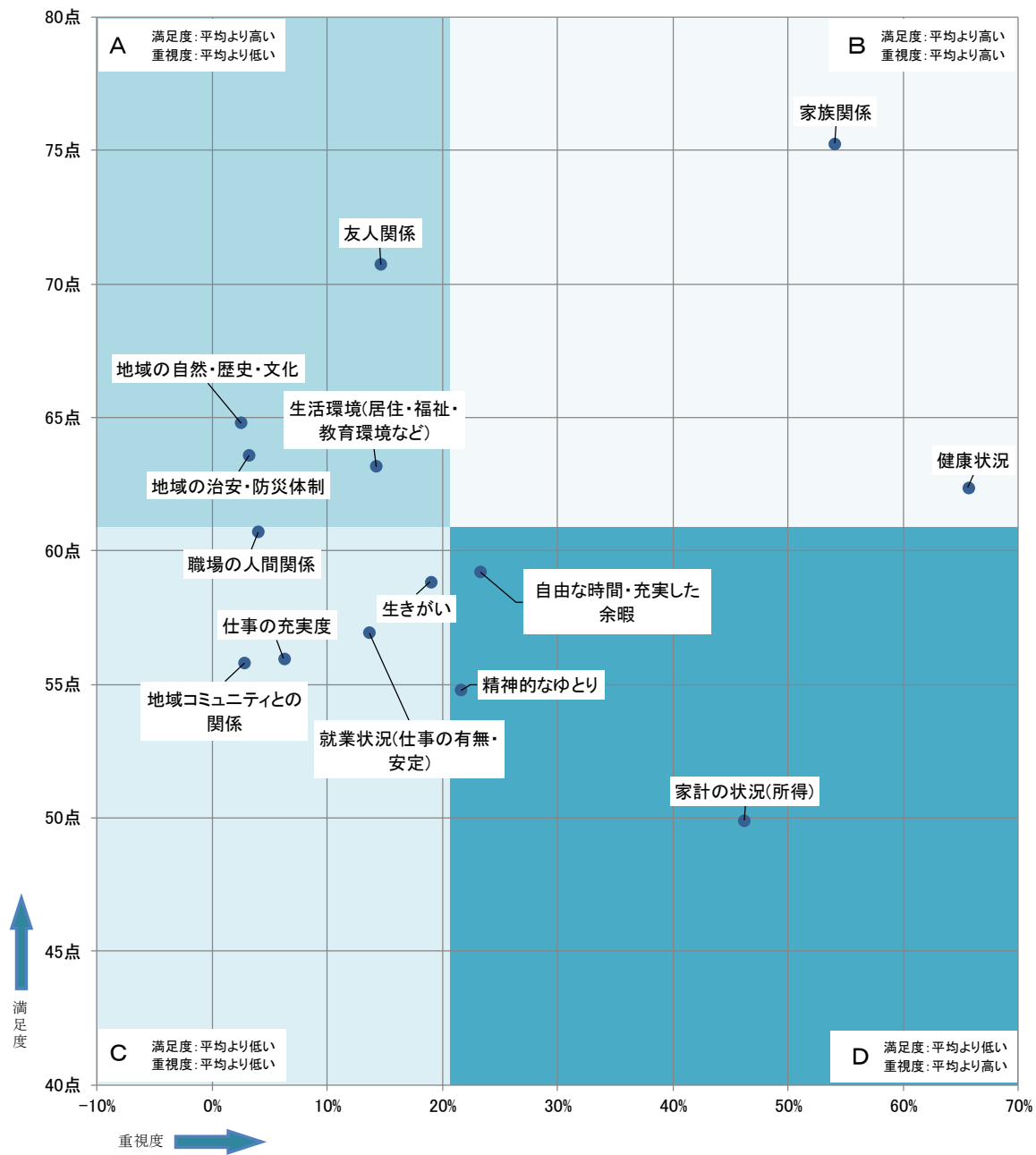
C：要検討領域

重視度も満足度も低い取組は、県民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重点的改善領域

重視度が高いが満足度が低いため、現在のやり方を変え満足度を高めていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重視度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重視度が高い低いということとなります。



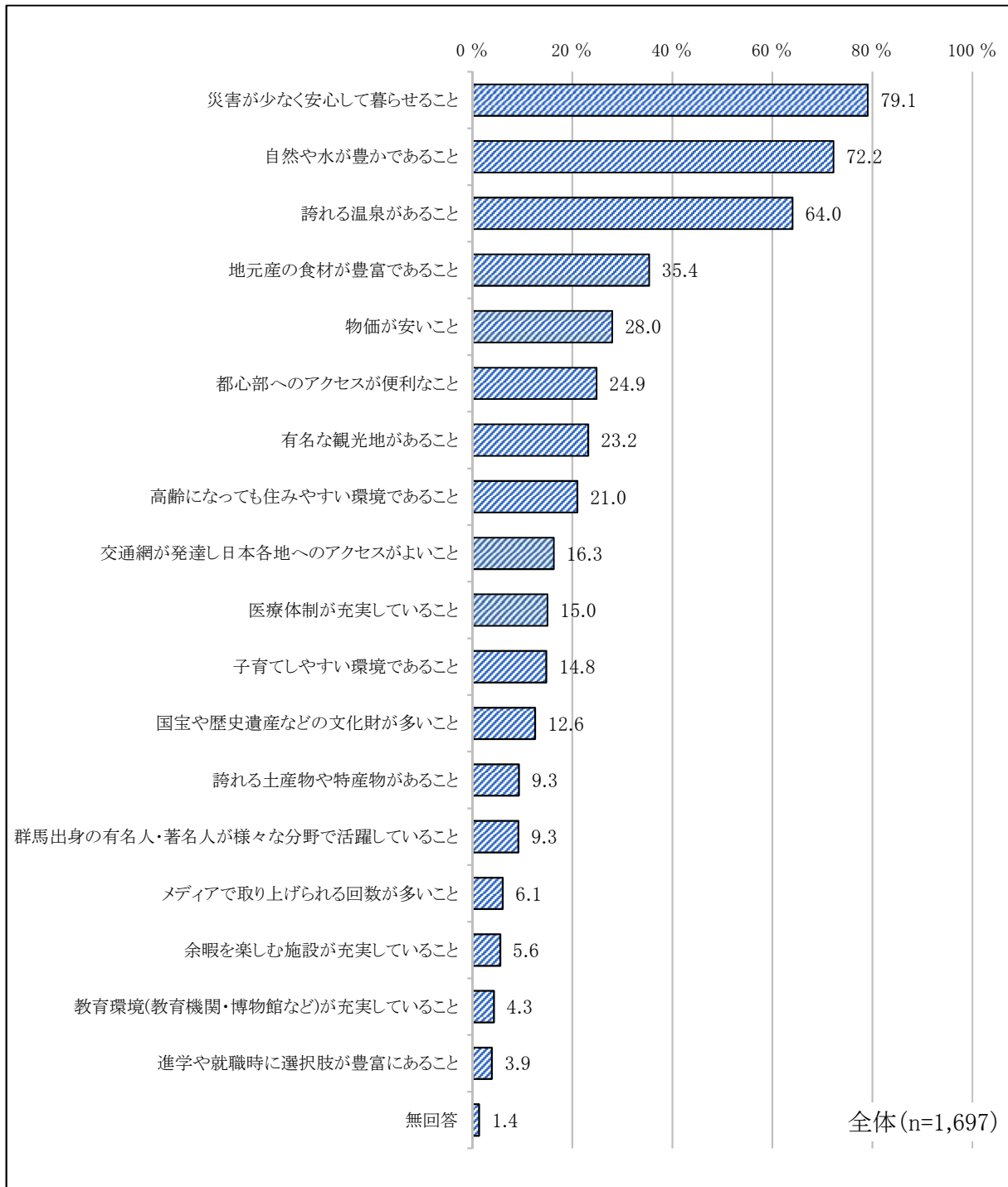
— 重視度は高いが満足度が低いのは「家計の状況（所得）」 —

幸福感を判断する際の重視度は高いが満足度が低いのは「家計の状況（所得）」となっています。

2. 『群馬県に対する気持ち』について

(1) 群馬県の良いところ

Q あなたが思う「群馬県のよいところ」はどのようなところですか。
次の1～18の中から、該当するすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



— 「災害が少なく安心して暮らせること」が約8割でトップ —

【全体結果】

「群馬県のよいところ」について、「災害が少なく安心して暮らせること」(79.1%)と答えた割合が最も高く、約8割となっています。次いで「自然や水が豊かであること」(72.2%)、「誇れる温泉があること」(64.0%)と半数以上が回答しており、「地元産の食材が豊富であること」(35.4%)が3割台、「物価が安いこと」(28.0%)、「都心部へのアクセスが便利なこと」(24.9%)、「有名な観光地があること」(23.2%)、「高齢になっても住みやすい環境であること」(21.0%)が2割台で続いています。

【属性別結果】

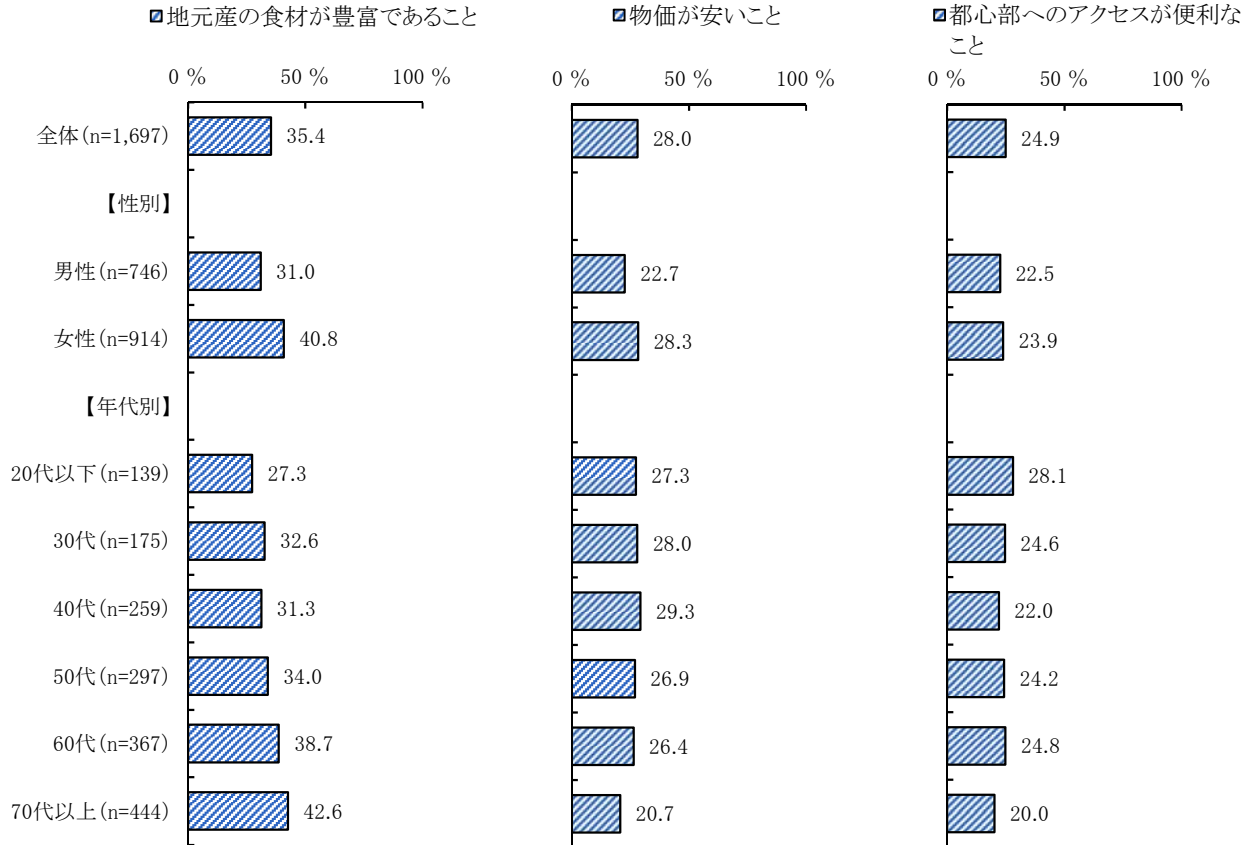
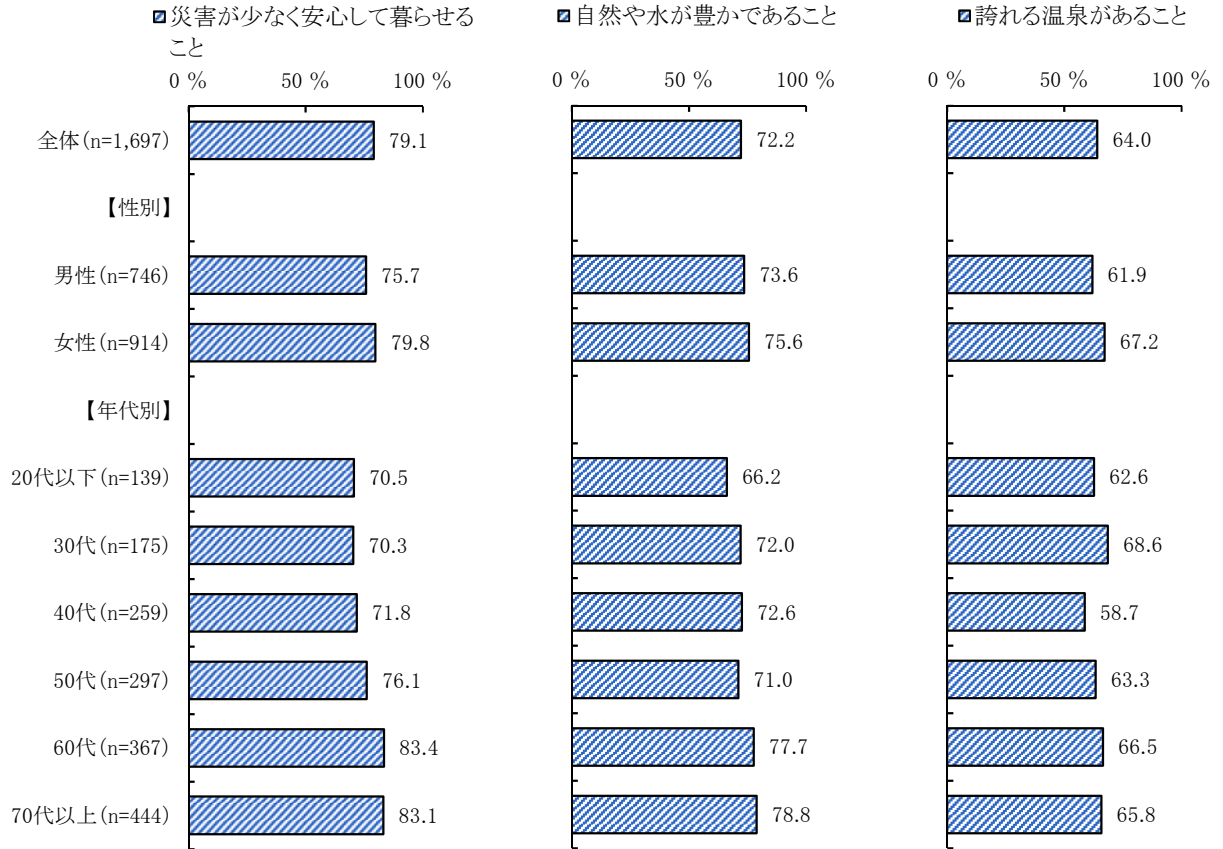
ア 性別

男女とも「災害が少なく安心して暮らせること」(各75.7%、79.8%)と答えた割合が最も高く、次いで「自然や水が豊かであること」(各73.6%、75.6%)、「誇れる温泉があること」(各61.9%、67.2%)の順となっています。「地元産の食材が豊富であること」と答えた割合は、男性(31.0%)と比べて女性(40.8%)で高くなっています。

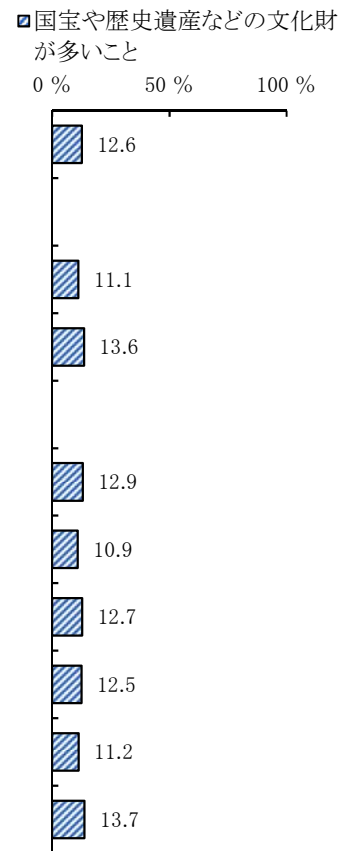
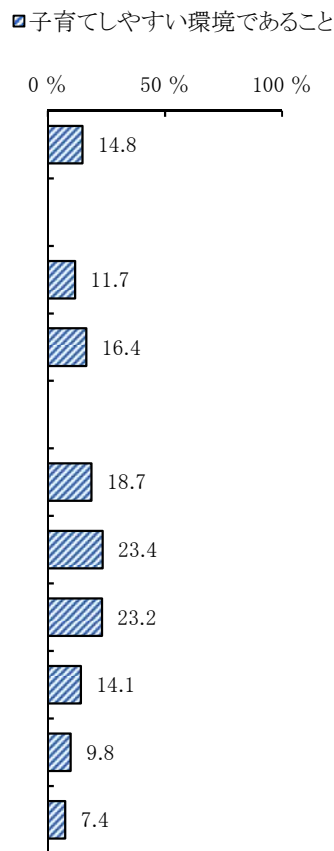
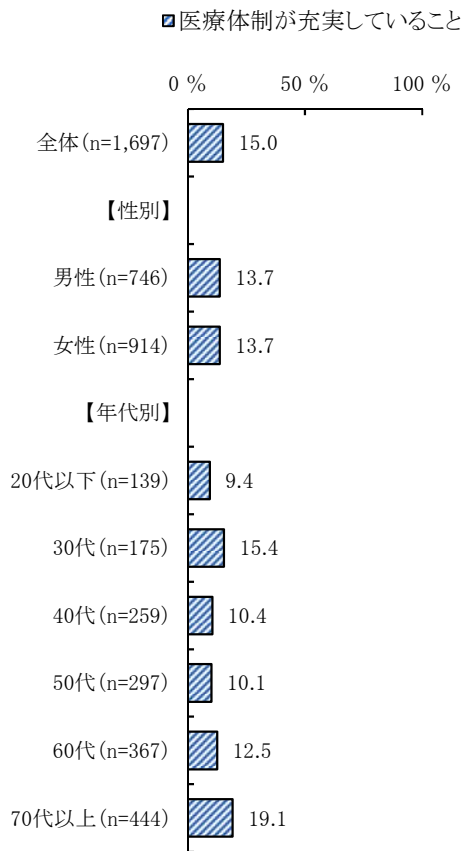
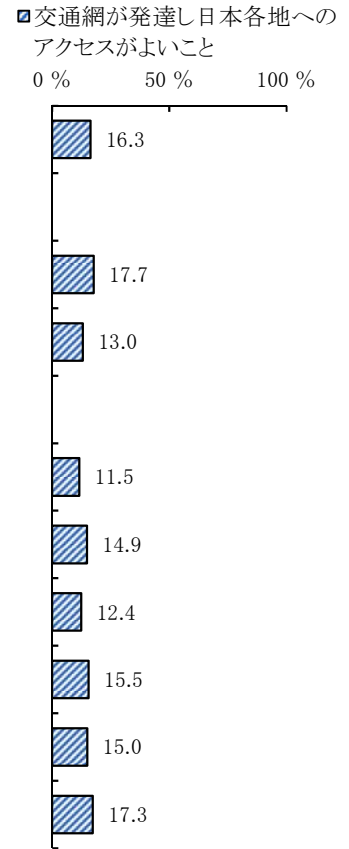
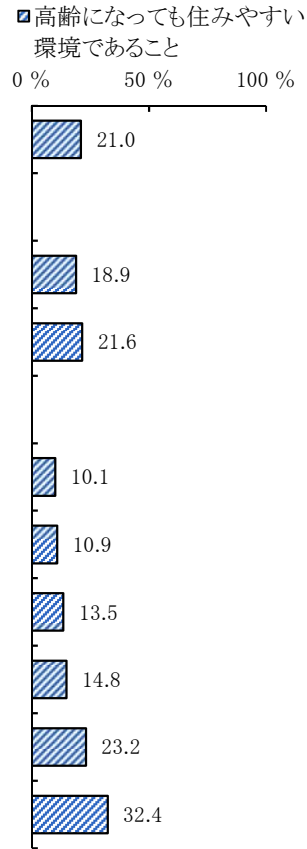
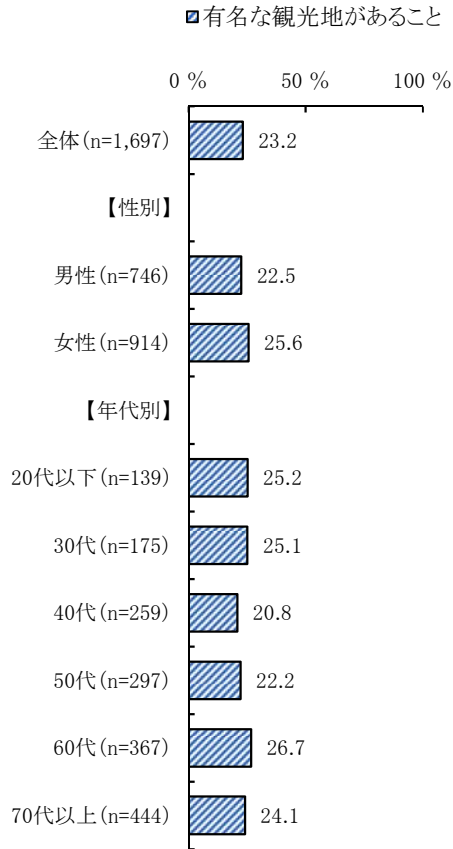
イ 年代別

20代以下、50代以上では「災害が少なく安心して暮らせること」と答えた割合が最も高くなっています。30代、40代では「自然や水が豊かであること」(各72.0%、72.6%)と答えた割合が「災害が少なく安心して暮らせること」(各70.3%、71.8%)と答えた割合よりやや高くなっています。「地元産の食材が豊富であること」、「高齢になっても住みやすい環境であること」は60代以上で、「子育てしやすい環境であること」は30～40代で割合が高い傾向にあります。

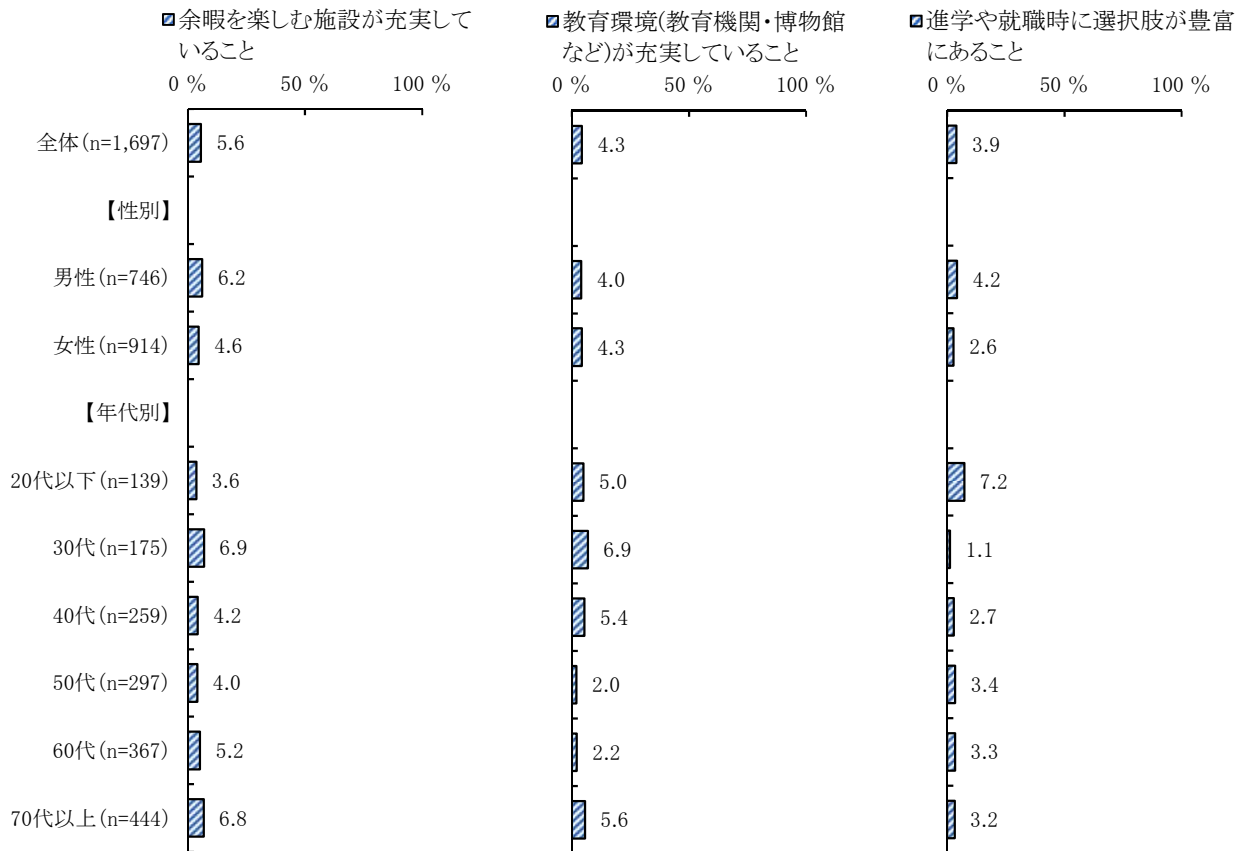
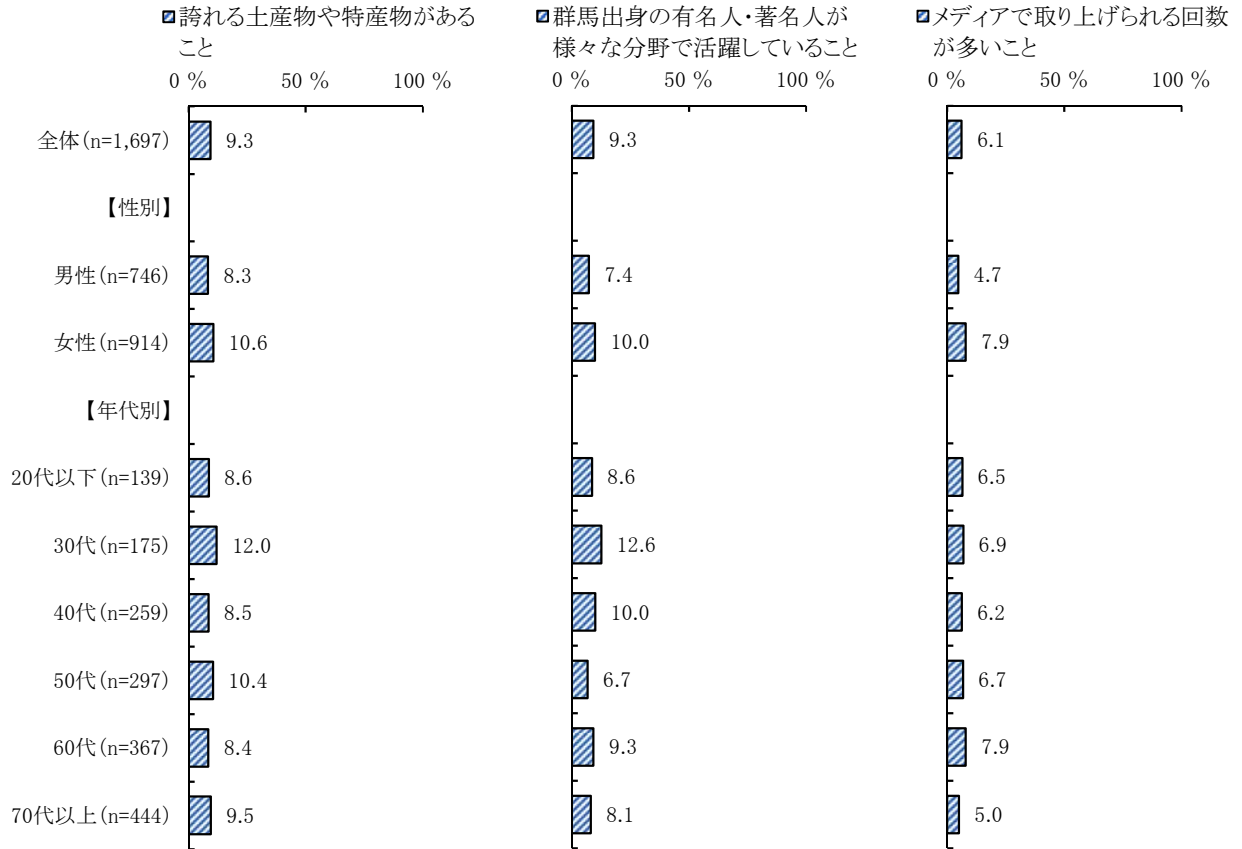
(性別／年代別)



(性別／年代別)

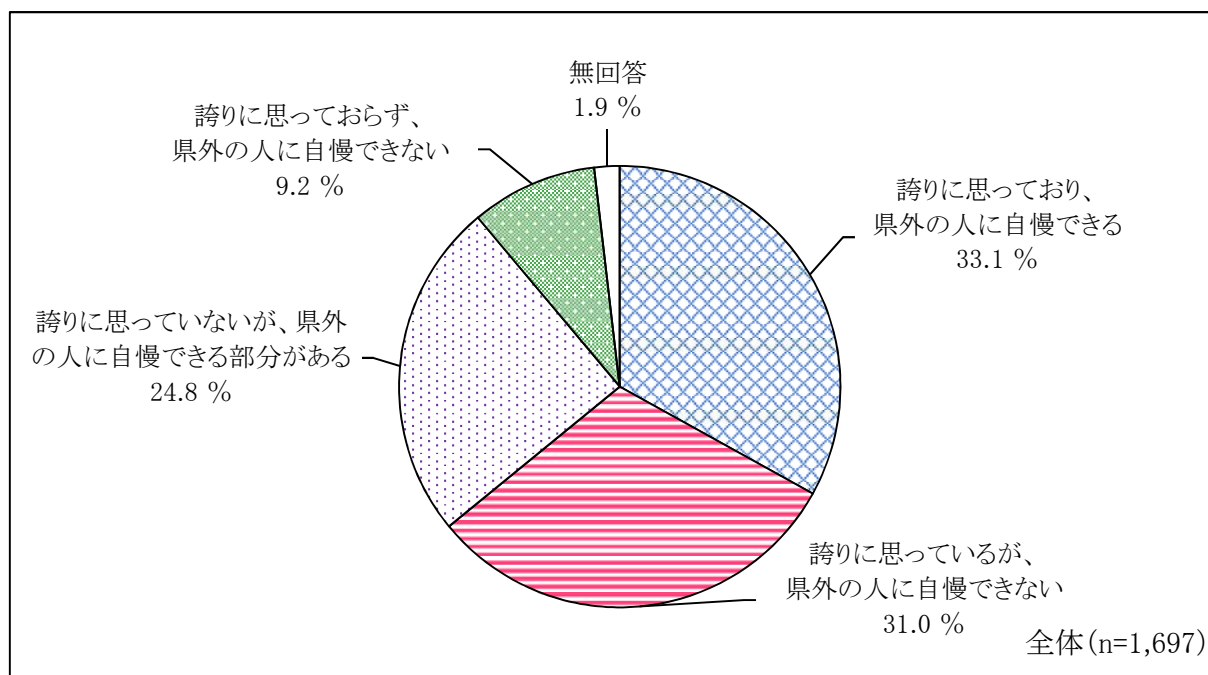


(性別／年代別)



(2) 群馬県への誇り(自慢)について

Q あなたは、群馬県のことを誇り(自慢)に思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。
(○は1つだけ)



— 6割以上が誇りに思っており、6割弱が県外の人に自慢できると思っています —

【全体結果】

群馬県への誇りについて「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」(33.1%)と答えた割合は3割強となっています。「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」と「誇りに思っているが、県外の人に自慢できない」を合わせた『誇りに思っている』(64.1%)と答えた割合は6割以上となっています。「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」と「誇りに思っていないが、県外の人に自慢できる部分がある」を合わせた『県外の人に自慢できる』(57.8%)と答えた割合は6割弱となっています。

【属性別結果】

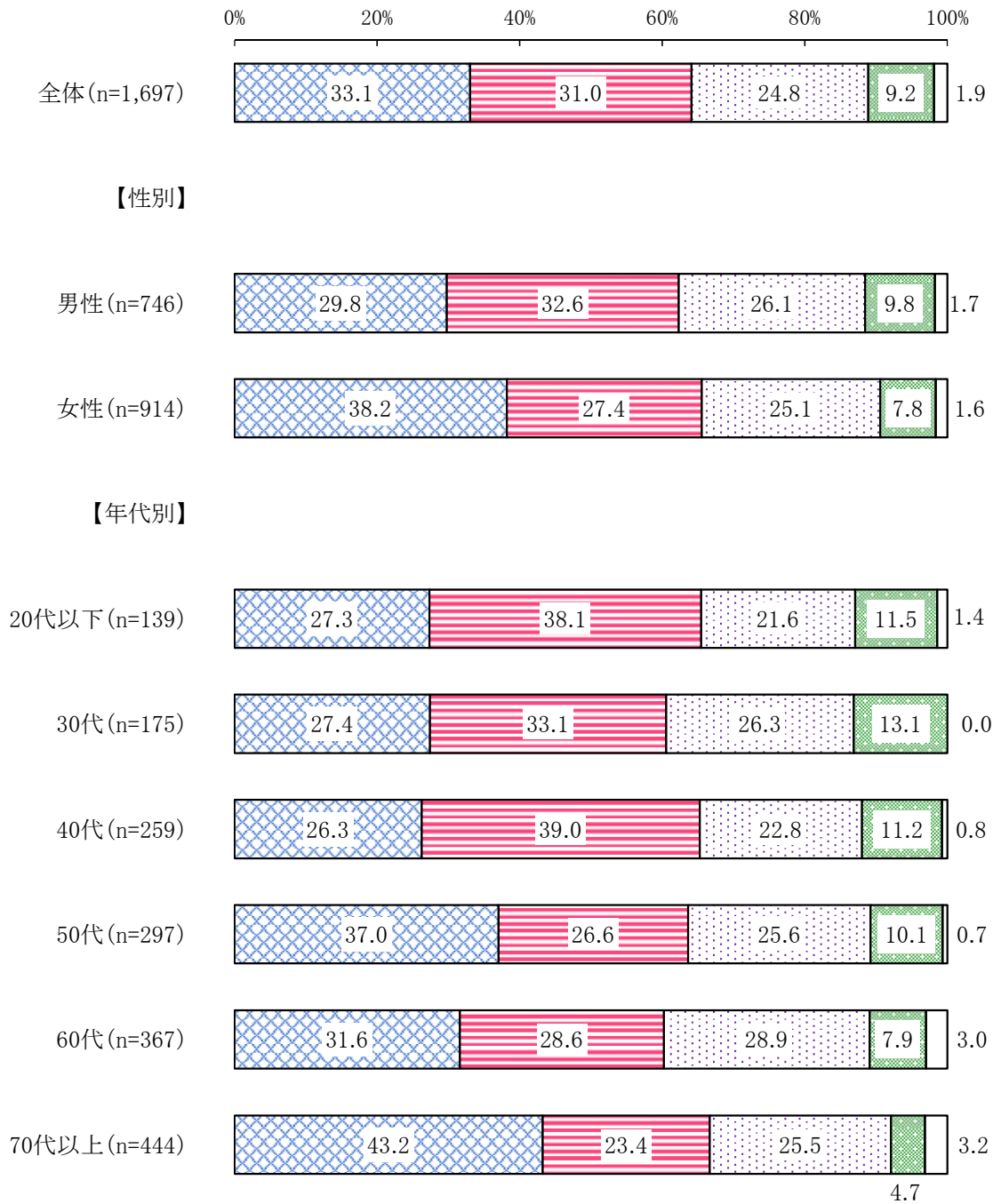
ア 性別

「誇りに思っており、県外の人に自慢できる」と答えた割合は、男性(29.8%)と比べて女性(38.2%)で高くなっています。『誇りに思っている』と答えた割合は性別による大きな差はありませんでしたが、『県外の人に自慢できる』と答えた割合は男性(55.9%)と比べて女性(63.2%)で高くなっています。

イ 年代別

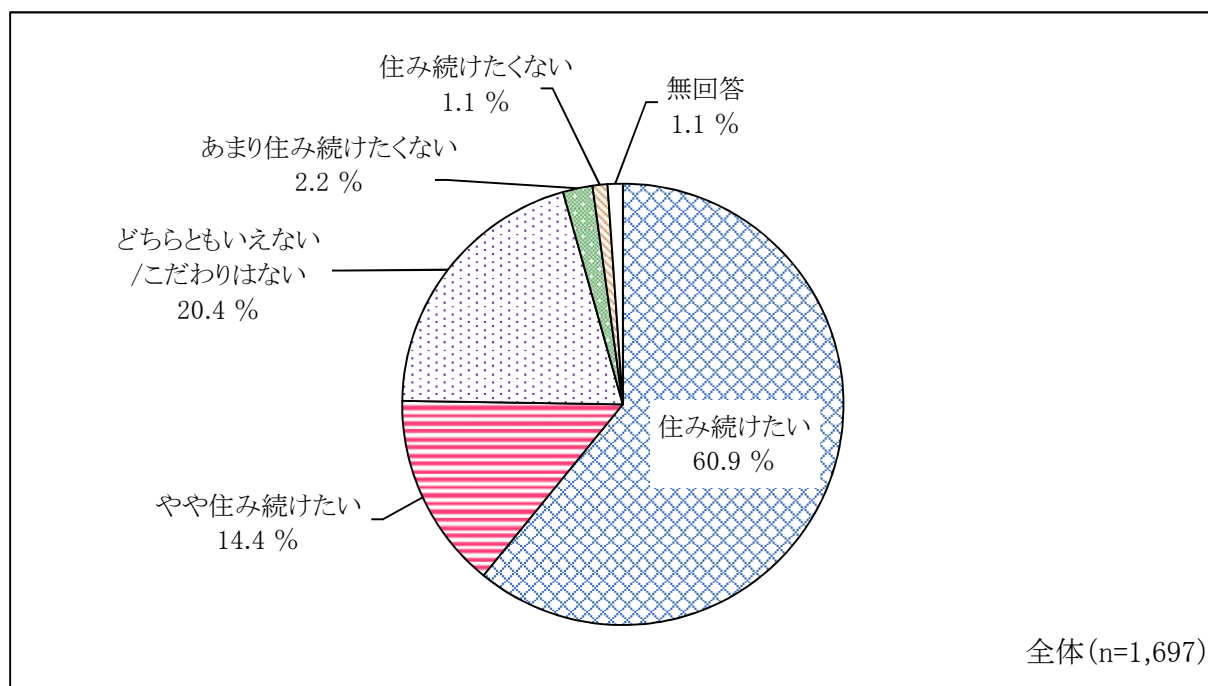
『誇りに思っている』と答えた割合はすべての年代で6割を超えていますが、『県外の人に自慢できる』と答えた割合は70代以上(68.7%)で最も高く、20代以下(48.9%)で最も低くなっています。50代以上の人ほど『県外の人に自慢できる』と思っている割合が高い傾向にあります。

- ▣ 誇りに思っており、県外の人に自慢できる
- ▣ 誇りに思っているが、県外の人に自慢できない
- ▣ 誇りに思っていないが、県外の人に自慢できる部分がある
- ▣ 誇りに思っておらず、県外の人に自慢できない
- 無回答



(3) 今後の居留意向

Q あなたは、今後も群馬県に住み続けたいと思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。
(○は1つだけ)



— 『住み続けたい』人は約4人に3人 —

【全体結果】

「住み続けたい」(60.9%)と「やや住み続けたい」(14.4%)を合わせた『住み続けたい』(75.3%)と答えた割合は7割半ばを占めています。「どちらともいえない/こだわりはない」(20.4%)と答えた割合が約2割、「あまり住み続けたくない」(2.2%)と「住み続けたくない」(1.1%)を合わせた『住み続けたくない』と答えた割合は3.3%でした。

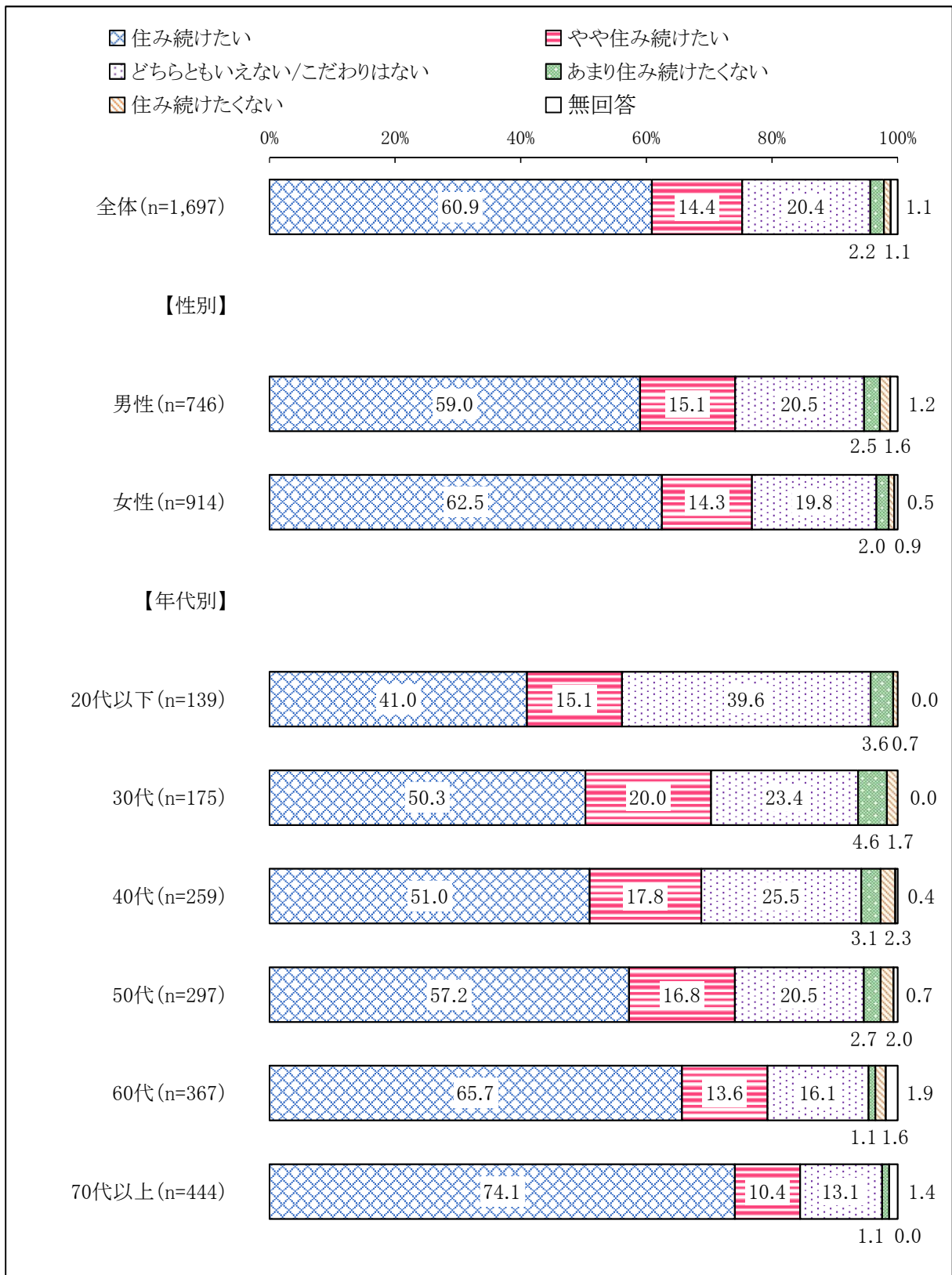
【属性別結果】

ア 性別

性別による大きな差は見られません。

イ 年代別

『住み続けたい』と答えた割合は、70代以上(84.5%)で最も高く、50代、60代、70代以上と年代が高いほど割合も高い傾向にあります。20代以下(56.1%)では他の年代と比べて割合が低く、『住み続けたくない』と答えた割合は4.3%ですが、「どちらともいえない/こだわりはない」(39.6%)が約4割を占めています。



3. 居住地域や社会状況等への所感（充足感）について

(1) 充足度結果一覧

居住地域や社会状況等における 40 項目の充足度平均得点をランキング化しました。

40 項目の充足度ランキング

平均得点 50.0 点

順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.9
2	治安がよく安心した生活	66.7
3	群馬の歴史文化への誇り	62.4
4	消費者としての安心・安全	60.9
5	運動やスポーツに取り組むことができる環境	58.7
6	健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境	57.8
7	海外からの観光客にとって魅力的だと思う観光地	57.2
8	救急医療体制	57.0
9	近隣住民同士が困ったときに助け合える地域環境	56.9
10	移住者を受け入れる土壌	56.3
11	安心して子どもを産み育てられる環境	56.1
12	自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策	56.1
13	必要な医療サービスを受けられる体制	53.2
14	群馬県産の農林水産物のブランド評価・県内外への販路拡大	53.0
15	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場	53.0
16	災害時に必要な情報提供を受けられる体制	52.9
17	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境	52.3
18	交通事故が少なく安全な生活	51.7
19	自主的な健康づくりを促すための支援	50.2
20	魅力ある観光地づくり	49.8
21	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合った暮らし	49.1
22	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会	48.9
23	運動やスポーツを観戦する機会	48.3
24	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれない社会のあらゆる分野での個性と能力の発揮	46.5
25	地球温暖化防止のため再生可能エネルギーの普及や活用	46.3
26	子どもたちが自分の頭で未来を考え、率先して行動できる力を身につけられる教育	46.3
27	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組	45.8
28	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められている	45.2
29	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間の整備	45.1
30	働きやすい職場環境の整備	44.4
31	ふだんの暮らしの中で食品ロスを減らすための行動の定着	43.3
32	子育てをしながら働き続けられる環境	43.3
33	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境	42.8
34	森林の管理や適切な利用	42.8
35	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっている	42.3
36	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われている	41.5
37	新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制	40.8
38	群馬県には、十分な収入を得ることができる仕事がある	40.7
39	群馬県産の農林水産物のブランドとしての評価、県内外への販路拡大	40.4
40	鉄道・バスなどの公共交通機関の利用しやすさ	28.7

平均より高い



平均より低い

居住地や社会状況等に関する1～40の質問について、あなた自身の実感に最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください、という問いに対し、【感じる】の回答者に100点、【やや感じる】に75点、【どちらとも言えない】に50点、【あまり感じない】に25点、【感じない】に0点を与え、各項目の平均得点を算出した結果を掲載しました。(前頁参照)

平均得点が高いほど、「充足」との評価が高い項目です。

平均得点の算出式、算出例を以下に掲載しました。

※1：平均得点の算出式

$$\begin{aligned} & (\text{【感じる】} \times 100 + \text{【やや感じる】} \times 75 \\ & + \text{【どちらとも言えない】} \times 50 \\ & + \text{【あまり感じない】} \times 25 + \text{【感じない】} \times 0) \\ & \div \text{無回答者を除いた} n \text{ 数} \end{aligned}$$

※2：平均得点の算出例

例えば、「感じる」100人、「やや感じる」75人、「どちらとも言えない」200人、「あまり感じない」50人、「感じない」25人ですと、
 $100 \text{ 人} \times 100 \text{ 点} + 75 \text{ 人} \times 75 \text{ 点} + 200 \text{ 人} \times 50 \text{ 点} + 50 \text{ 人} \times 25 \text{ 点} + 25 \text{ 人} \times 0 \text{ 点}$

450人

≒61.1

※平均得点=61点になります。

— 充足度のトップは「群馬県では、安心・安全な食品・農畜産物が提供されている」 —

【全体結果】

居住地や社会状況等における充足度は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」(66.9点)で最も得点が高く1位となった。次いで、「治安がよく安心した生活」(66.7点)が2位、「群馬の歴史文化への誇り」(62.4点)が3位、以下、「消費者としての安心・安全」(60.9点)、「運動やスポーツに取り組むことができる環境」(58.7点)と続きます。

【属性別結果】(次頁参照)

ア 性別

男女とも充足度の上位3項目は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」、「治安がよく安心した生活」、「群馬の歴史文化への誇り」となっています。

イ 年代別

20代以下を除きすべての年代で充足度の上位3項目は「安心・安全な食品・農畜産物の提供」、「治安がよく安心した生活」、「群馬の歴史文化への誇り」となっています。60代以上では「治安がよく安心した生活」の方が「安心・安全な食品・農畜産物の提供」の充足度を上回っています。20代以下では「群馬の歴史文化への誇り」ではなく、「消費者としての安心・安全」が上位3項目に入っています。

【性別】

男性		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.3
2	治安がよく安心した生活	66.2
3	群馬の歴史文化への誇り	62.4
女性		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	68.0
2	治安がよく安心した生活	67.2
3	群馬の歴史文化への誇り	63.9

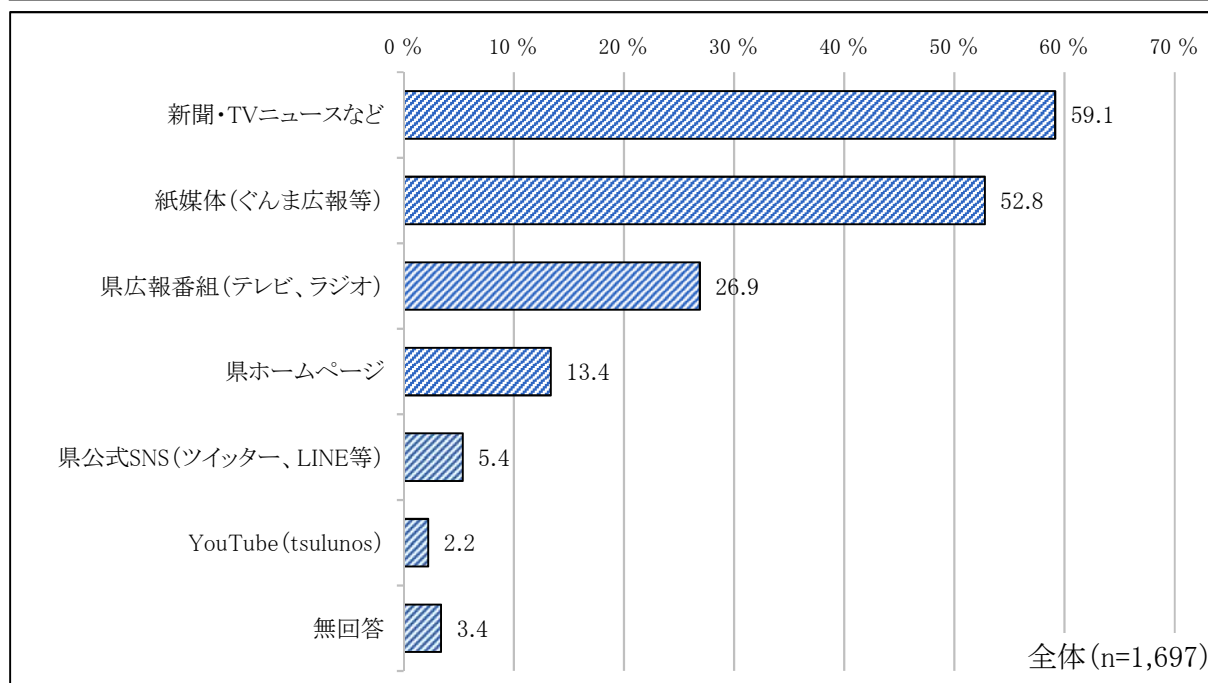
【年代別】

20代以下		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	74.1
2	治安がよく安心した生活	73.6
3	消費者としての安心・安全	66.4
30代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	66.9
2	治安がよく安心した生活	63.8
3	群馬の歴史文化への誇り	58.5
40代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.7
2	治安がよく安心した生活	63.8
3	群馬の歴史文化への誇り	59.2
50代		
順位	項目	充足度
1	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.8
2	治安がよく安心した生活	63.7
3	群馬の歴史文化への誇り	63.1
60代		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	68.1
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	65.8
3	群馬の歴史文化への誇り	64.1
70代以上		
順位	項目	充足度
1	治安がよく安心した生活	67.8
2	安心・安全な食品・農畜産物の提供	67.6
3	群馬の歴史文化への誇り	66.2

4. 「情報発信」や「SDGs」について

(1) 県政に関する情報の入手経路

Q あなたは、県政に関する情報をどのような媒体から入手していますか。
あなたの状況にあてはまるすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)



— 約6割が「新聞・TVニュースなど」から入手 —

【全体結果】

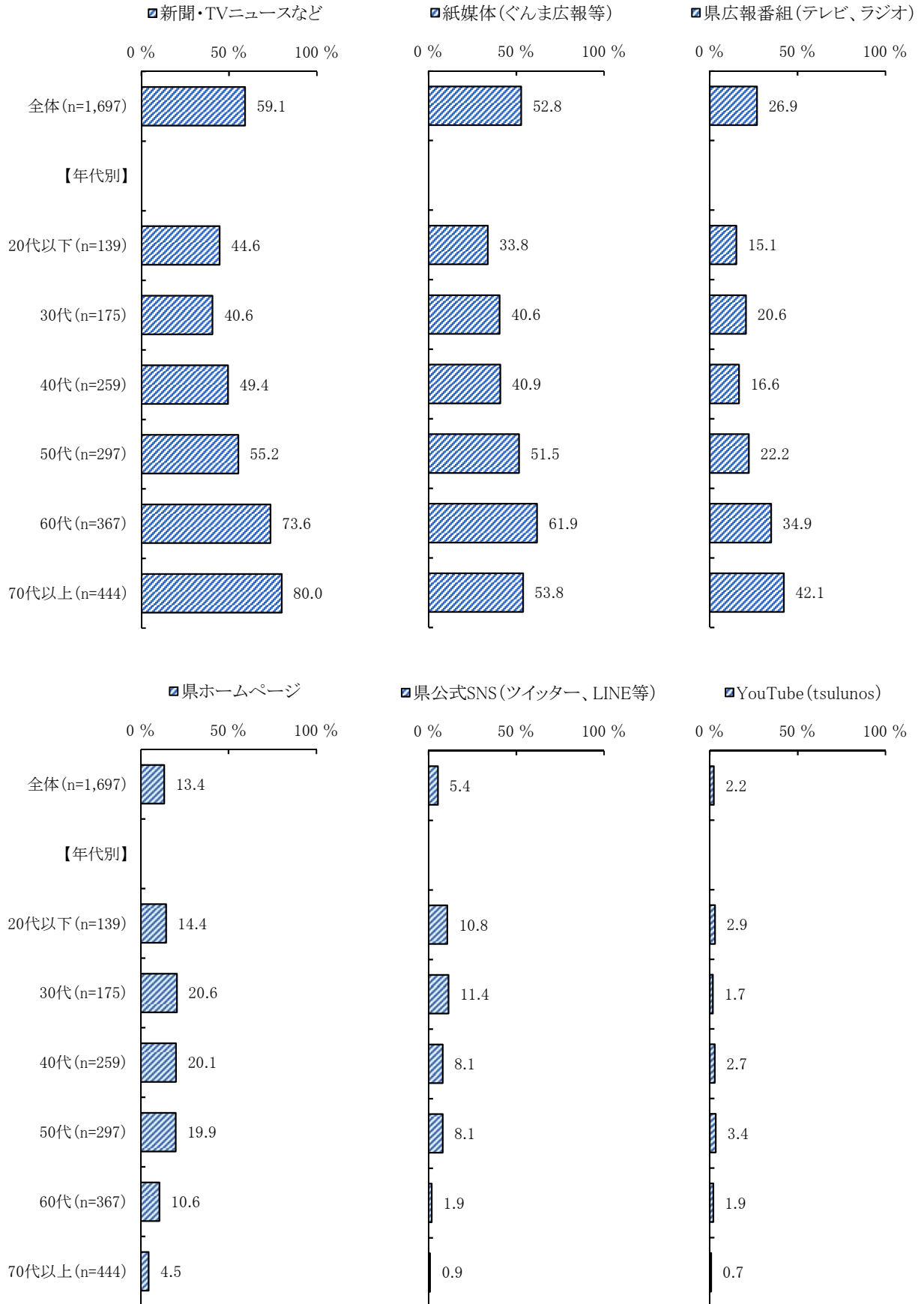
県政に関する情報の入手経路について、「新聞・TVニュースなど」(59.1%)と答えた割合が最も高く、約6割となっています。次いで「紙媒体(ぐんま広報等)」(52.8%)が5割台、「県広報番組(テレビ、ラジオ)」(26.9%)が2割台、「県ホームページ」(13.4%)が1割台となった。「県公式SNS(ツイッター、LINE等)」と「YouTube (tsulunon)」と答えた人は1割未満でした。

【属性別結果】

ア 年代別

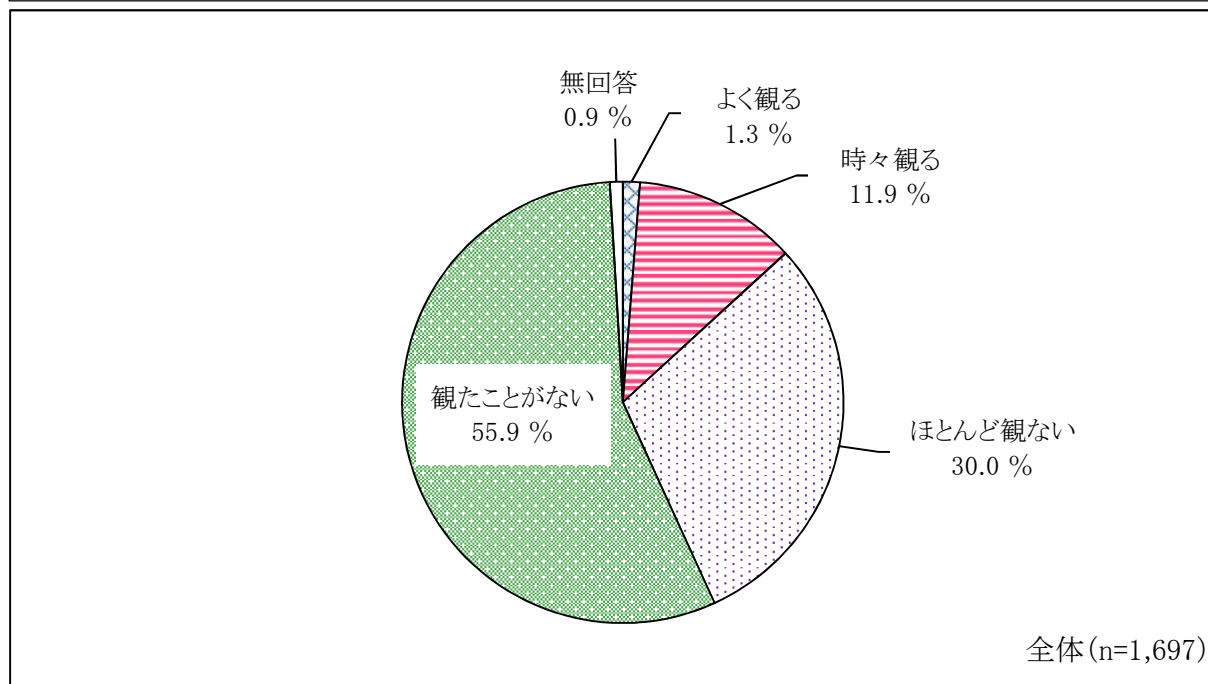
30代以外では「新聞・TVニュースなど」と答えた割合が最も高くなっています。30代では「新聞・TVニュースなど」と「紙媒体(ぐんま広報等)」(いずれも40.6%)が約4割で同割合となっています。60代以上では「新聞・TVニュースなど」、「紙媒体(ぐんま広報等)」、「県広報番組(テレビ、ラジオ)」の割合が高く、PCやスマートフォンを利用する「県ホームページ」や「県公式SNS(ツイッター、LINE等)」の割合が低い傾向にあります。

(年代別)



(2) 群馬県制作動画の視聴状況

Q あなたは、県が制作した動画をどのくらいの頻度で視聴したことがありますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『観る』人は1割強に留まる —

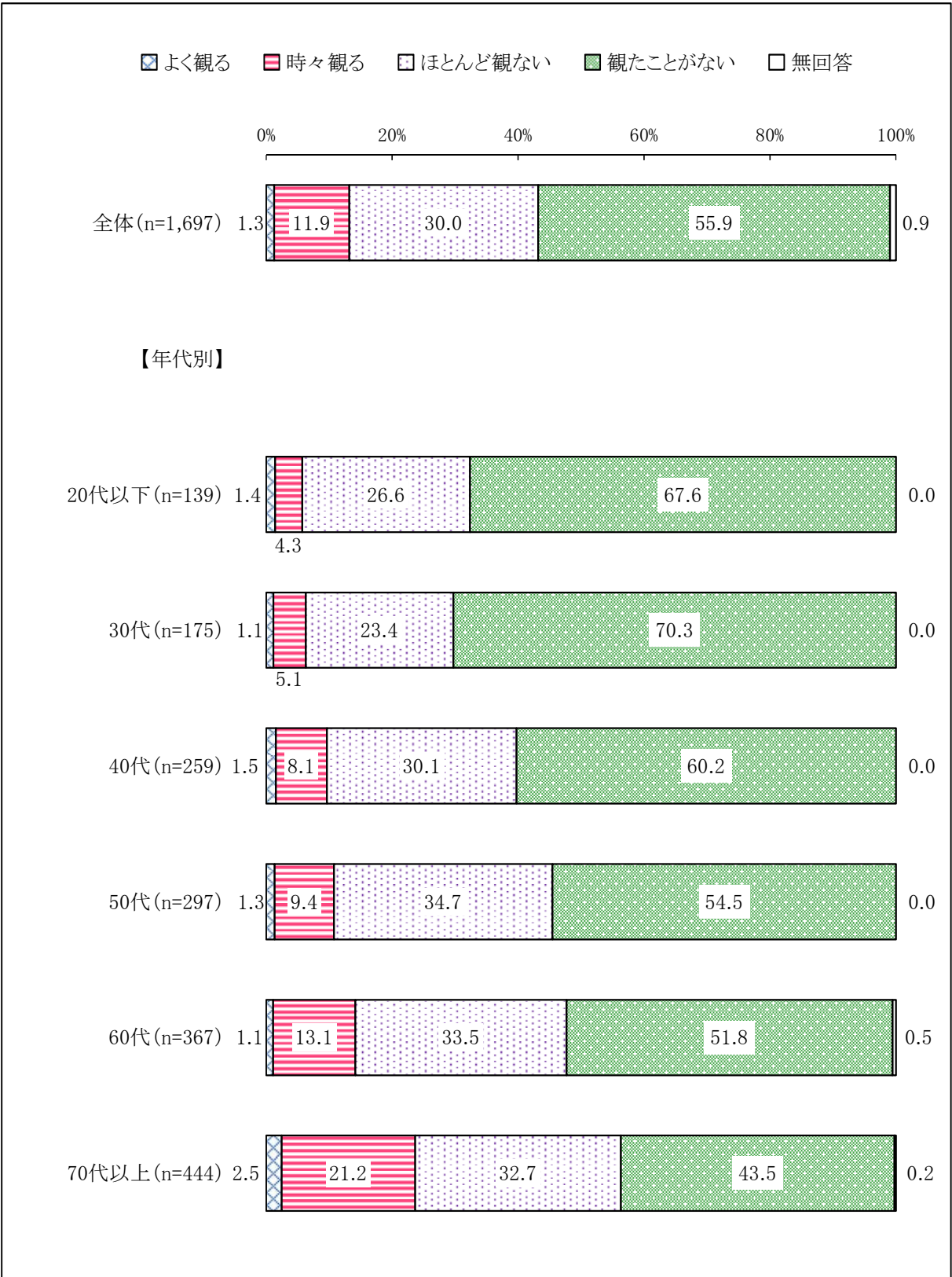
【全体結果】

「よく観る」(1.3%)と「時々観る」(11.9%)を合わせた『観る』(13.2%)と答えた割合は1割強でした。「見たことがない」(55.9%)と答えた割合が半数以上を占めています。

【属性別結果】

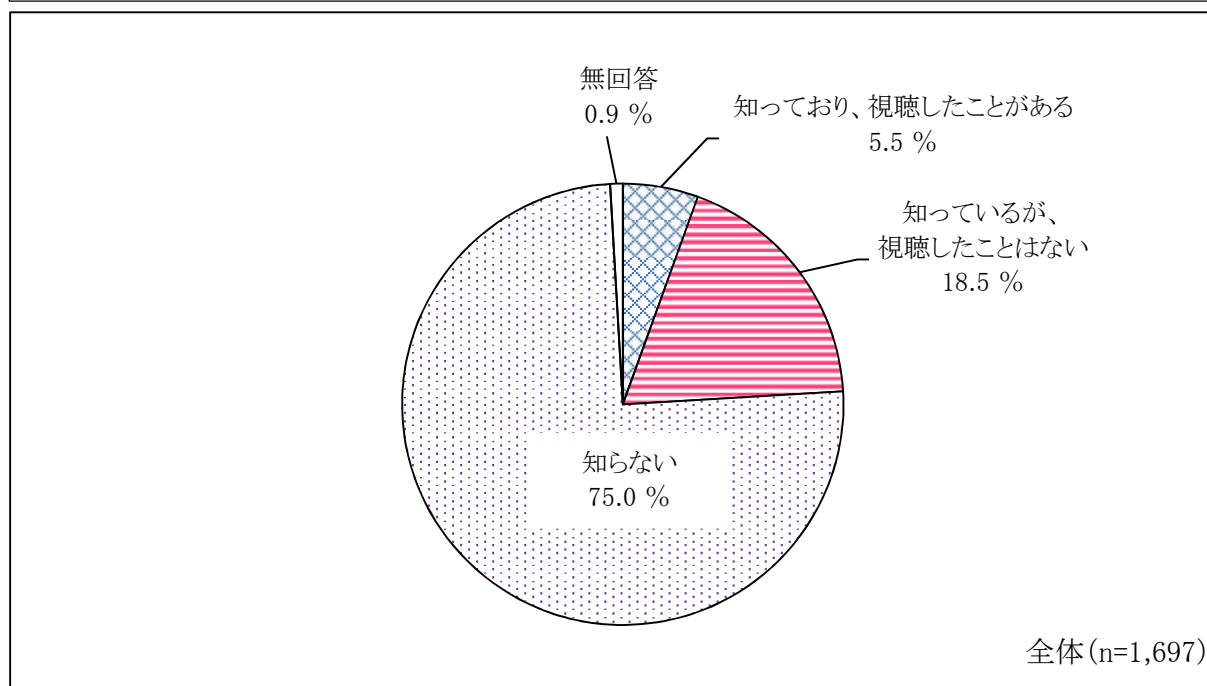
ア 年代別

『観る』と答えた割合は、70代以上(23.6%)が2割強で最も高く、50代、60代、70代以上と年代が高いほど割合も高い傾向にあります。40代以下では1割未満でした。



(3) 「tsulunos(ツルノス)」の視聴状況

Q あなたは、群馬県がYouTubeチャンネル「tsulunos(ツルノス)」で情報発信していることを知っていますか。あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 『知っている』人は約4人に1人 —

【全体結果】

「知っており、視聴したことがある」(5.5%)と答えた割合は1割未満でしたが、「知っているが、視聴したことはない」(18.5%)と合わせた『知っている』(24.1%)と答えた割合は2割半ばとなっています。「知らない」(75.0%)は7割半ばを占めています。

【属性別結果】

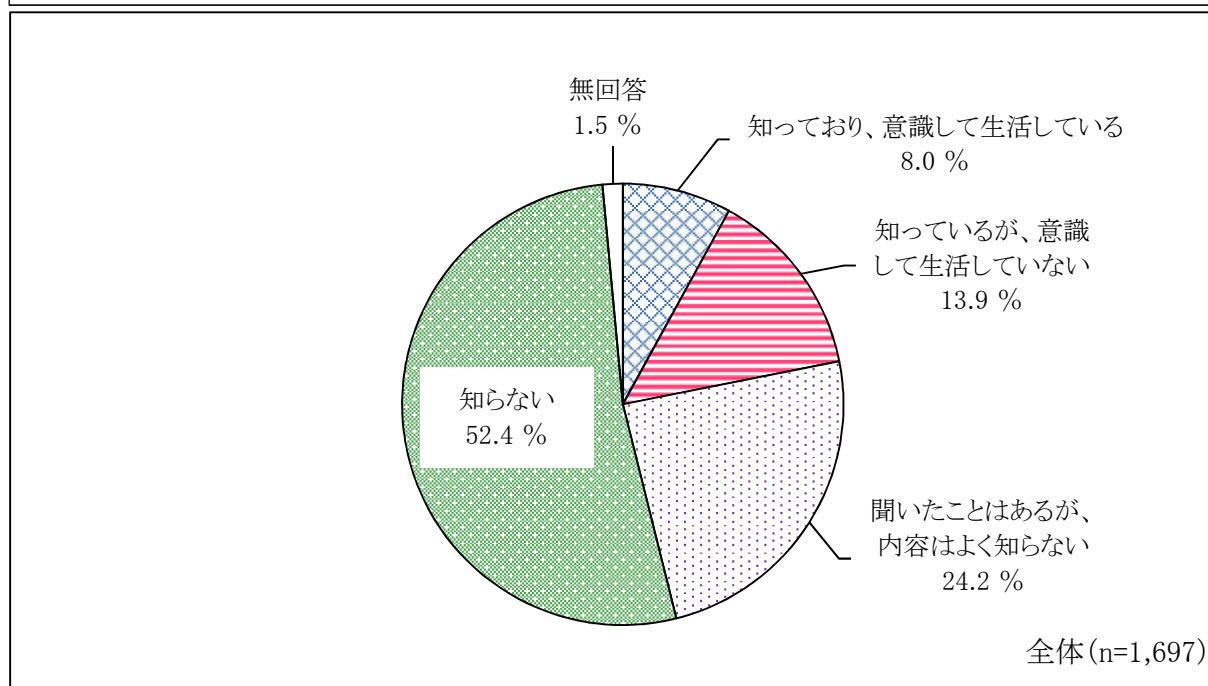
ア 年代別

「知っており、視聴したことがある」と答えた割合は40代(8.9%)で最も高く約1割となりましたが、『知っている』と答えた割合は、60代(28.6%)で最も高く約3割となっています。60代以上では「知っているが、視聴したことはない」の回答が他年代と比べ高い結果となりました。



(4) 「SDGs」の認知状況

Q あなたは、「経済」「社会」「環境」のバランスを取りながら持続可能な社会を実現するための、国際社会共通の目標である「SDGs」を知っていますか。
あなたの状況にあてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。(○は1つだけ)



— 約2割が『知っている』と回答 —

【全体結果】

「知っており、意識して生活している」(8.0%)と「知っているが、意識して生活していない」(13.9%)を合わせた『知っている』(21.9%)と答えた割合は約2割となっています。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(24.2)が2割半ば、「知らない」(52.4%)は5割強を占めています。

【属性別結果】

ア 年代別

『知っている』と答えた割合は、20代以下(32.4%)で最も高く、70代以上(9.9%)で最も低くなっています。

- 知っており、意識して生活している
- 知っているが、意識して生活していない
- 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 知らない
- 無回答

